

Kodak
LICENSED PRODUCT

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

Blue 1 2 3 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Cyan 2 3 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Green 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Yellow 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Red 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19
Magenta 11 12 13 14 15 17 18 19
White 13 14 15 17 18 19
3/Color 17 18 19
Black 18 19

山形縣地誌提要

上

JL 4
698
1



津久井遠校訂
荒井太四郎編輯

山形縣地誌提要

上卷

明治十二年
七月刻成

明治閣藏版

明治十二年八月
依藤院
天照



山形縣地誌提要序



稟生于地球者固不可不講
其理而徒從事於高遠之
猶多階梯而登堂屋者
決不可得也夫登高必自
卑。屬遠必自邇。故講地

門呂4
698
卷1

理必先究內。然後及外。是
此書之所以成也。此書取捨
適宜。詳略得當。則謂之
地學階梯。豈不可乎。語曰。
千里之遠。必始於跬步。我
縣學者。其以此書當今日

跬步而可也。

明治十有一年。第五月前。三
山形縣一等屬筒井明俊撰

東京卷菱澤書



最上河原代 通屬

新田末海も

多々孫也
多々孫也

夜をしのぐ由り國をくわびて
まじりていふはあたし一由のたのま
ゆり及の國とていふるにた
まひていふはあたし一國の
まじりていふはあたし一國の
まじりていふはあたし一國の
まじりていふはあたし一國の
まじりていふはあたし一國の
まじりていふはあたし一國の

たくま集いむらひていさち初子乃
 おもひそふたひさよゝゝゝあへ下此
 又たむらふふちていさち島のか
 へいそあひいさち代あ代て
 へたと平——いさちとてたての
 るるるるるるるるるるるるるるるるる
 るるるるるるるるるるるるるるるるる
 るるるるるるるるるるるるるるるるる

海と乳干

凡例

- 一 地名山川社寺等ハ右ニ雙柱ヲ施シ人名ハ左ニ單柱ヲ附メ之ヲ分ツ
- 一 戸數人口ハ明治十年十月ノ戶籍改正調ニ據リ反別地價正租國縣稅學校教員生徒牛馬舟車等モ亦全年ノ帳簿ニ披シ
- 一 此編ハ古書ニ徴シ口授ニ披リ專ラ其要ヲ提ク事項百般繆漏無キヲ保タス
- 看官忠告有ラハ他日必ス正誤ス可シ

目次

- 上卷 村山最上二郡
- 下卷 飽海田川置賜三郡

凡例目次畢

山形縣地誌提要上

荒井太四郎編輯

津久井遠校訂

山形縣八、東山道二属又其管轄八羽前國、村山最

上、田川、置賜、四郡上、羽後國、飽海郡ヲ併入其疆

域、北八秋田縣二隣、東南八宮城、福嶋八二縣二

界、西南八新瀉縣二接、西八日本海二面、其

幅、東線路、東西、三十二里二十四町八間、一尺五寸、

南北、四十三里十二町四十五間、三尺六寸、

山形縣地誌提要上

山形縣地誌提要上

羽前、羽後、原出羽國ナリ、上古鷲鷹ノ羽ヲ貢セ
 シニ因リ、其名ヲ得タリト云、齊明帝四年、越後ノ
 國司、阿部比良夫、蝦夷ヲ討テ、國ニ郡領ヲ置ク、和
 銅元年九月、出羽郡ヲ越後國ニ置キ、同五年九月
 割テ、更ニ出羽國ヲ置キ、同十月、又陸奥國ヲ割テ、
 之ニ隸ス、置賜、最上ノ二郡是ナリ、而シテ國府ヲ
 井口ニ建ツ、天平寶字中、國ノ守介ニ屬ス、仁和二
 年十一月、最上ヲ分テ、村山、最上ノ二郡トナス、康
 平中、鎮守府ニ屬シ、寛治中、押領使ニ屬ス、鎌倉ノ
 時、奉行ヲ置キ、建武中興、國司ヲ置キ、元中八年關

東管領ニ屬ス、最上、武藤伊達其他ノ數氏、相共ニ
 疆壤ヲ争フ者、前後數十年、徳川氏ニ至テ、諸藩ノ
 封土、犬牙相交ナリ、明治革新ノ際、割テ前後二國
 トカニ、藩ヲ廢シテ縣治ス、
 縣治ハ明治三年ニ始マレ、其九月廿八日、酒田縣
 ヲ廢シ、山形縣ヲ置ク、同四年十一月二日、諸縣
 共ニ廢テ、更ニ山形縣ヲ置ク、當時ニ所轄村山
 最上、小半ニ在リ、九年八月廿
 六日、鶴岡、置賜ノ二縣ヲ併セ、幅員始テ廣シ
 地勢ハ山地七分ニシテ、平地ヲ三分ニシ、地質ハ

肥瘠相半、黃赤土多、白黑土之、
 所在、水利有、田圃、灌溉スル、
 上川、松川、赤川、鮭川、須川等、舟楫ヲ通スマシ
 氣候ハ、大率寒暑共ニ劇シ、花卉ノ葩葉ハ、其質重
 厚ニシテ妍麗ナリ、花候、東京ニ後ル、三旬弱、其
 果熟シ、木落ルニ至テハ、大ナル遲速ナレ
 風俗ハ、質樸ニシテ、多ク古風ヲ存ス、民業ハ、農ヲ
 專ニシテ、商ハ十ノ二分ニ居リ、工ハ之ニ次グ
 全縣市街、三百四十八、村落、一千二百二十五、戶數、
 十、百、五、千、七、百、零、八、戶、人、員、六、十、六、万、九、千、六

百八十人 男三十四万零百零七人
女三十二万九千五百七十三人
 舊及別、拾万七千四百六拾四町六畝壹步壹合貳
 勺、草高、百零貳万九千九百拾三石壹斗九升壹合
 五勺、小、戈、
 現及別、耕宅地、山林、原野、通計、貳拾七万三千百九
 拾六町貳反五畝廿壹步九合五勺、地價金、三千五
 百拾五万貳千七百八拾三圓六拾貳錢、歲入正租、
 八拾五万三千八百貳拾九圓六拾五錢貳厘、國稅、
 六万八千七百拾四圓四拾貳錢三厘、縣稅、壹万三
 千百三拾壹圓三拾七錢貳厘、賦金、壹万七千三百

三拾三圓零々三厘地租五分ノ一、民費拾七万零七百六拾五圓九拾三錢貳厘○嶋嶼一港灣五暗

礁二○礦山借區五試堀十二廢山四廿軍鎮第二軍管分營一裁判所支廳三區裁判所三警察署五全分署二交番所六○學區第六大學區中學校二教員九人、生徒百九十七人、傳習校三教員六人、生徒二百五十三人男二百五十五人、女三十人英語學校一教員三人、生徒三十四人、小學校五百一訓導三十教員十零八生徒、四万千三百二十人男三万五千五百五十九人、女六千六百六十九人○神社、國幣中社二全小社二縣社十一郷社七村社八一百

雜社二千三百七十二通佛寺、天台、曹洞、臨濟、真言計三百八十八真宗百九十六淨土九十日蓮三十一宗七十四通計千○電信局二郵便局二等四四等六五等計、百零六、通金圓為替所在山形、新莊、酒田、雀岳、米沢、宮内、小出、

○道路、東京街道二線、其一、小坂通上、山、福島縣下、磐城國、荊田郡、湯ノ原二至八里、廿四其二、米澤通上、山、川口、中山、川楯、全、信夫郡、李平、二至里、三、丁、四秋田街道天童、楯岳、土生田、尾花、羽後、五、間、余

國、雄勝郡、下院内二至里、五、十、間別路及位三り全由利郡、上笹子二至里、六宮城道、五線、其一、笹

谷越 新山陸前國柴田郡笹谷ニ至ル 五里十二間 其二

二、二口越 寺山全、二口ニ至ル 六里五丁 其三、関山越

天童、全、宮城郡作並ニ至ル 丁十四里廿六 其四、銀山

越 楯岡延沢柳全、加美郡輕井澤ニ至ル 十四里五

其五、小國越 尾花沢、正巖、滿沢、全、中山ニ至ル 廿里

丁六 越後道、二線、其一、鶴岡通り 舟形、本合海、古口、

岡、三瀬、温、新瀉縣下、磐船郡府屋ニ至ル 五丁四里

其二、米沢通り 米沢、小松、手、子、白子、全、上関ニ至ル

三里又、小國ヨリ 舟渡、全、柳生戸ニ至ル 七里 岩代

道 米沢、関、福嶋縣下、耶麻郡檜原ニ至ル 十九里 卅

全、支道、米沢ヨリ 神原、金、全、入田付ニ至ル 四十里 鶴

岡道六十里越 本、道、寺、砂、子、関、志、津、大、綱、松、根、田

川郡鶴岡ニ至ル 丁二十六里四 窪岡ヨリ秋田道 横

門田新堀、酒、羽後國由利郡小砂川ニ至ル 十四里 酒

田道 狩川、全、飽海郡酒田ニ至ル 卅三里十八 別路

狩川ヨリ、全、松嶺ニ至ル 四十五間 米沢支道 長

堂狸森、小滝、置賜郡米澤ニ至ル 三十六里廿五 又、村

宮内、糠ノ目、沢、畑谷、中山、石、那、全、所ニ至ル 四十六里七 又、山、木

田、小出、上、小、松、全、所ニ至ル 四十六里六 又、山、大、木

宮宿、大瀬、石、那、全、所ニ至ル 四十六里六 又、山、大、木

田、小出、上、小、松、全、所ニ至ル 四十六里六 又、山、大、木

木沢、三、中、大、船、木、全、所ニ至ル 四十六里六 又、山、大、木

窪、鮎、貝、小、出、上、小、松、全、所ニ至ル 四十六里六 又、山、大、木

村山郡

細谷米山閣

羽前國ノ中部ニ位シ、北ヲ最上郡トス、其分界ハ
 戸澤山ノ脉派、西ニ亘リテ、瀨名坂ト曰ヒ、猿羽根
 峠ト曰フ、西ヲ田川郡トス、其分界ハ西北ニ月山
 葉山有リ、西南ニ朝日嶽有リ、南ヲ置賜郡トス、白
 鷹山分界ノ中央ニ跨リ、金山峠東南ノ極隅ニ聳
 ヲ東ハ藏王山ヲ以テ、磐城國、新田郡ト界シ、笹谷
 峠、二口越、面白山、五所山等ヲ以テ、陸前國、柴田、名
 取、宮城、加美ノ四郡ヲ限ル、松川、置賜ヨリ來リ、本
 郡ニ入テ、最上川ト稱シ、諸水ヲ會シ、中央部ヲ北

流シテ、最上郡ニ注グ、之ヲ縣川ト為ス、川ニ沿フ、
 東西ノ地、頗ル闊濶セリ、其四圍、大山ナルガ故ニ、
 昔時ハ、大山郷ノ稱有リ、東西、九十八里餘、南北、九
 十四里餘、而シテ、山形ノ地位ハ、郡ノ東南部ニ属
 シ、笹谷峠ノ西、三里三十二丁三十九間ニ在リ、
 氣候、西北部ハ、汞針、寒、十八九度、暑、九十三四度、積
 雪、八尺ヨリ、一丈五六尺、或ハ三四丈ニ及ブ、地
 有リ、東南部ハ、寒、二十度、積雪、二尺ヨリ、三四尺ニ
 至ル
 舊反別、三万七千零四拾九町七反三畝廿七步七

合四勺 草高三拾六萬五千三百七拾石零三升九合四勺六戈

耕宅地現反別四萬壹千三百九拾町零八畝廿七步零四勺 地價金壹千百拾三萬九千三百九拾

四圓五拾壹錢壹厘

山林原野現反別貳萬零五百五拾四町四反貳畝零五步 地價金拾壹萬三千四百拾八圓八拾五

錢七厘

市街四十二村落三百九十七戶數四萬五千百零五戶人口二十五萬八千九百十六人

女十二萬七千七百五十五人

傳習學校一教員二人生徒男百廿二人女三人

小學校二百教員三百七十二人生徒一萬八千六百十

八人男一萬四千六百七十三人女三千九百四十五人

牛八百四十二頭牝七百三十二全洋種十九頭牝一牝

馬六千三百四十七頭牝三千二百四十七

舟六十三小船四百四十二車馬車六人力車七

六百十

郵便局所在山形黑沢上山播下漆山天童楯岡尾

閑沢山寺貫見山口東根觀音寺延沢柏倉吉野宿

志津、松程、谷地、白鳥、左
沢、大谷、宮宿、今町、橋上

普通物産、米、小麥、黍、大豆、蜀黍、甘薯

特有物産、實綿、青苧、梟、生糸、蚕種、真綿、節糸、製茶、生

蠟、漆汁、藥種、煙草、紅花、紅染、陶器、黑材板、砂金、銅、鉛、

砥石、硯石、蘭席、銅鍍細工、蔓細工、黑材細工、硫黃、湯

花、傘、真田織、草履表、蚊帳地、諸紙、熨斗梅、葛粉、納豆、

晒水飴、茸類、蜂蜜、鮭、鱒、鮎、鰻、鯉、小鳥

山形、元最上、稱入、又山方、改入、中古山縣、

作り、後今ノ字、用久、沃野、平岡、遠ク連リ、市街、村

落相接、所謂四通五達、衢ナリ、東西、廿八町、南

北、一里十八町三間、市街、三十一、戸數、四千五百四

十六、戸、人口、二万二千二百九十八人、男、一、万、零、四、百、

零、八、百、八、十六、人、女、一、万、零、四、百、

傳習學校、一、小學校、十四、教員、五十七人、生徒、一、十

八百四十一人、男、千、二、百、廿、二、人、女、六、百、十九、人

北、銅町、東、七日町、南、上町、西、下條町、是隣

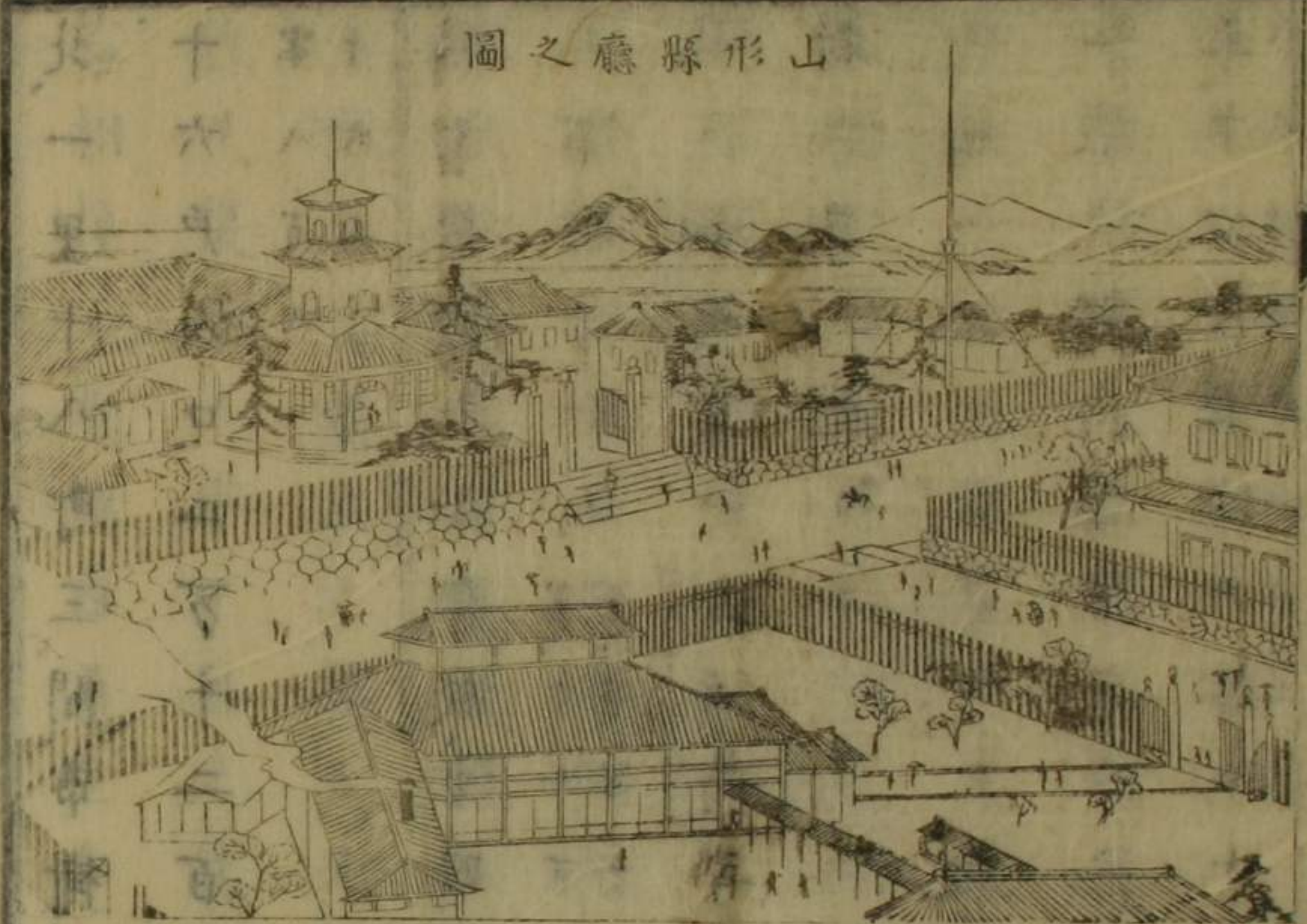
村分界ノ地ナリ

縣廳ハ地ヲ旅籠町ニ相テ、建築ス、即全管ハ中央

ニ在リ、柵内幅員三千八百六十八坪九合、明治九

年十一月、土功ヲ起シ、十年十月、成テ告テ、全十

山形縣廳之圖



月三日、開廳式ヲ行ハ、建坪、三百四十五坪五合、前頭、三層ノ屋ヲ架ス、高六十七尺八寸、衙門ハ、南ニ面シ、其造構渾テ洋製ニ効ス、人目ヲ一新スベシ、北緯、三十八度十四分十七秒、東經、零度四十三分七秒、小入、
 應南六師範學校、新築ス

前頭五層、高百尺餘、規模真ニ宏壯ト謂フ可シ、其前面、製糸場ヲ設ク、十年十一月、築造シ、舶來ノ器械、蒸氣ヲ以テ運轉ス、又産業試驗場有リ、中外各種ノ植物、繁殖セリ、其西南ニ、湯殿山神社、分靈ノ祠ヲ假設ス、
 南本郡役所建設ノ地ハ、製糸場ノ南ニ在リテ、已ニ着手ニ及ヘリ、
 山形城ハ、霞城ト號ス、天平年間、大野東人、創築ス、ト云、延文元年、斯波兼頼、奥州大寄ヨリ移住シ、城郭ヲ補理シ、之ニ居リ、子孫、最上ヲ氏トス、十四

代、義俊ニ至リ、長臣等相争ヲテ、政理乱レ、遂ニ改
 易トナル之ヲ元和八年トス、全年十月、鳥居忠政、
 二代、寛永十三年、保科正之、全二十年、幕料トナリ、
 正保元年、松平直基、慶安元年ヨリ、松平忠明、二代、
 寛文八年ヨリ、奥平昌能、二代、貞享二年、堀田正伸
 全三年、松平直矩、元禄五年、松平忠維、全十三年ヨ
 リ、堀田正虎、三代、延享三年、大給兼信、明和元年、松
 平正容ニ附レ、復幕料トナル、全四年ヨリ、秋元凉
 朝、四代、弘化三年ヨリ、水野忠精、全忠弘領主タリ、
 明治三年六月、忠弘江州朝日山ニ移封、全九月、本

縣ニ属シ、尔後本丸ニノ丸、外十万坪、陸軍第二軍
 營仙臺鎮台ニ属スル、第五師管分營ノ所トナル、
 三ノ丸又、香澄町ト称ス、
 警察署ハ、七日町ニ接シ、洋製ニ新築セリ、上層六
 角ノ室ヲ築ス、高六十七尺、柵内、古松老樅、并立シ、
 雲表ニ晚翠ヲ競ス、分署ハ、本署ノ西ニ在リ、交番
 所ハ、四日町五日町ニ在リ
 香澄町ニ旧廳有リ、原水野氏ノ居邸ナリ、明治三
 年十月ヨリ、全十年十月ニ至リ、公務ヲ統率セリ、
 監倉署、監獄署等ハ、旧廳ノ東北、數十歩ニ在リ

山形縣志

十

月

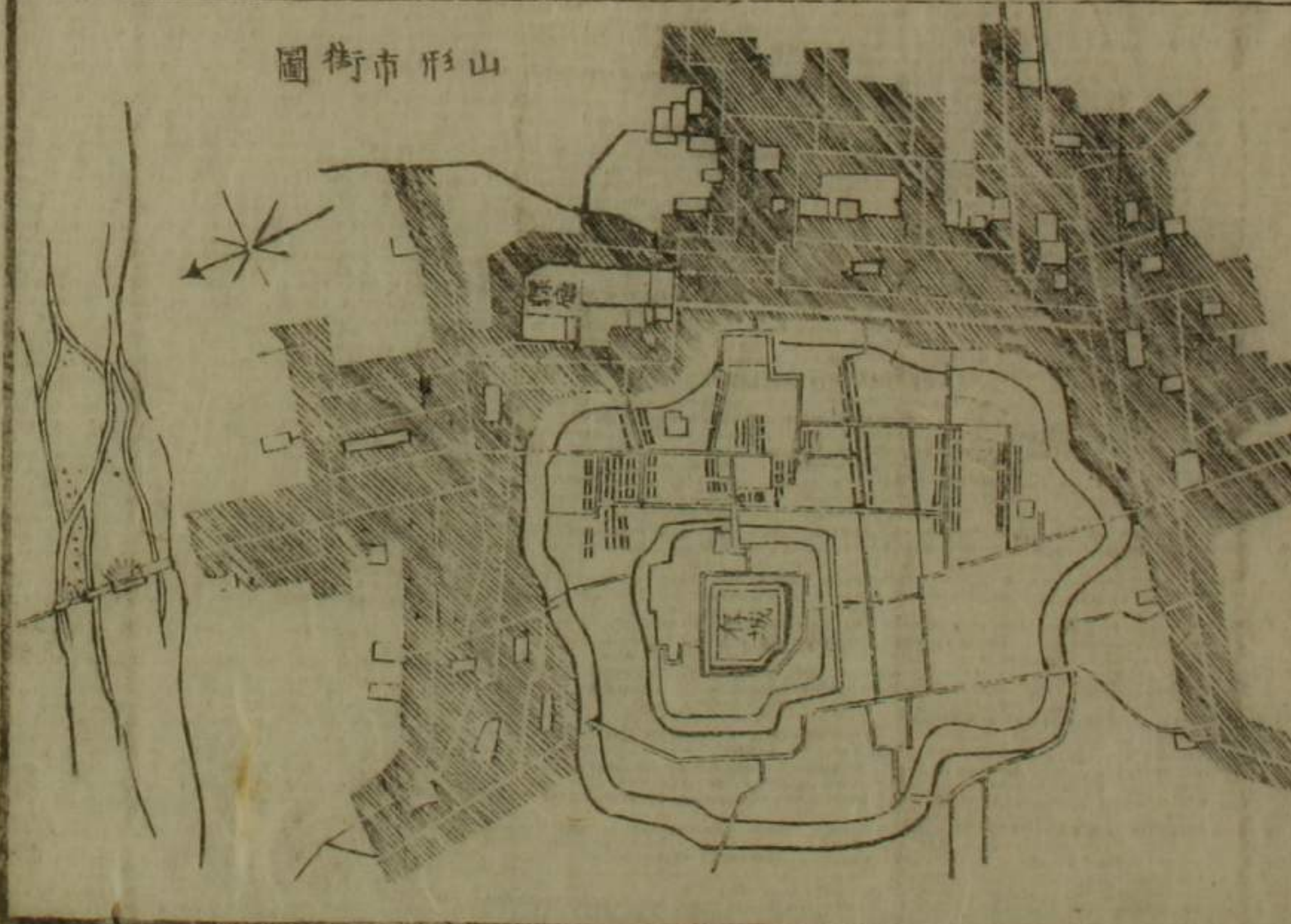
十年九月三日、開廳、柵内表面、千百七十三坪、建坪百二十五坪、郵便局、電信局有リ、相對向ス、又本縣為替方有リ

光明寺ハ、元郭内ニ在リ、寛永年間、寺町ニ移ス、斯波兼頼ノ開基ナリ、專稱寺本堂ノ四隅ニ、木偶有リ、梁ヲ昇上ル状ヲ作ス、體度活ル如シ、胸膈ニ傷痕有リ、傳ヘ言フ、曾テ獵者有リ、視以テ怪物ト做シ、一再銃撃シタルニ、因レリト、其他法祥寺、長源寺、皆寺町ニ在リ、寺町ハ、今七日町ニ合ス、皆川町、龍門寺、三日町、光禪寺、八日町、淨光寺、鍊炮町、寶光

院、皆巨刹ト称ス

鍊炮町ニ、縣社有リ、六椀八幡ト称ス、康平年間、源頼義、奥州征討ノ際、此地ヲ本營トス、石清水ノ八幡ヲ祭祀ス、地名昔時ハ、陸奥苦拔ニ作レリ、宮町ニ、鳥海、月山、兩所宮有リ、亦頼義ノ勸請ニシテ、武門吉事宮ト称ス、今郷社タリ、又國分寺有リ、一ニ、柏山寺ト称ス、巨刹ノ一タリ、藥師ヲ安置ス、地先ヲ、藥師町ト曰ヒ、宮町ニ属セリ、銅町ハ、工業ノ家、軒ヲ比バ、銅鍊ノ器物ヲ製スルニ、尤モ盛ニシテ、其巧造、近年進歩シ、輸出モ亦多シ

神道事務局ハ、地藏町ニ
 在リ、從前ハ、寶幢寺ト号
 シテ、巨利ノ一タリ、近年
 寺主、復飾セリ
 小姓町ニ劇場ノ常座有
 リ、技擡ハ、此町ニ擡比セ
 リ、其他各所ニ、雜居ノ者
 有リ
 小荷駄町ニ、戊辰、殉難ノ
 七、九名ノ墓碑排列ハ、招

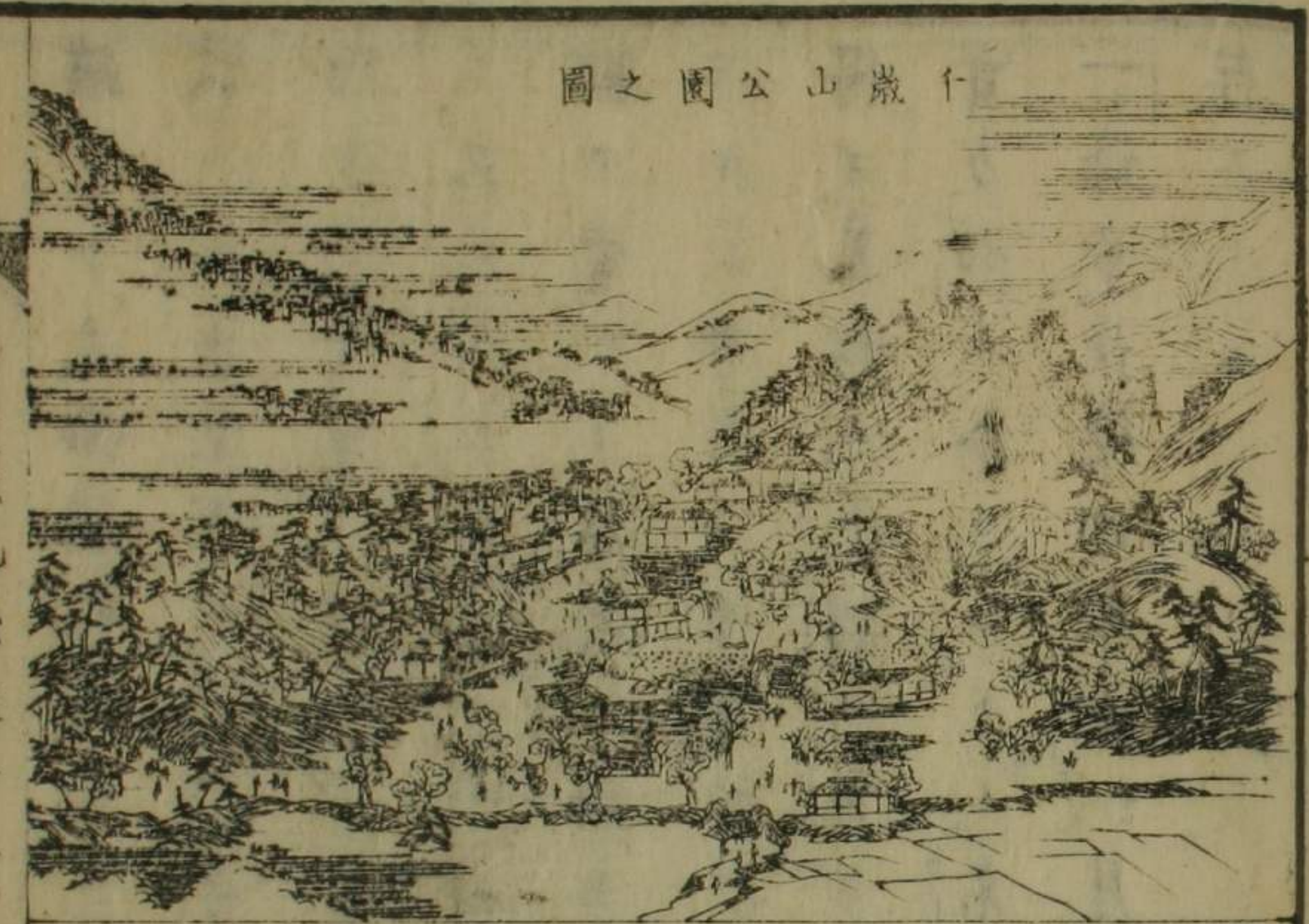


鬼場トス、本年、官本社ヲ經營セリ
 前田村郷社有リ、熊野神社ト曰フ、其前頭、山勢覆
 盆状ヲ作シ、老米落茄法ノ如キヲ見ル、千歳山是
 ナリ、阿古耶松ノ古蹟ヲ遺セリ、古歌有リ、載テ萬
 葉集ニ在リ、里俗傳フ、奥州、信夫ノ牧主、藤原中納
 言豊充ニ女有リ、阿古耶ト曰フ、私夫有リ、緑衣玄
 裳、状貌甚秀偉、雅ニ自言フ、十八公ノ長ニシテ、千
 歳山ニ住セリ、一夜、愀然トシテ曰、今ヨリ後、復相
 覲ルヲ得ザラレ、其故ヲ問フ、答ハズ、良久ヲシテ
 曰、吾若シ死セバ、只卿ノ導引ヲ要スルノミト、警

山形縣志是要上

然トシテ見ヘズ、姫追蹤セルトス、時ニ片雲月ヲ吐テ、窓ニ庭松ノ影ヲ印セリ、當時國人、名取川橋梁修理ノ舉アリテ、其材ヲ選ブ、千歳山ノ古松枝幹巨大、其用ニ適セリ、乃斧斤之ニ及ビ、松樹終ニ斬伐セラレ、然ルニ衆力動カス能ハズ、姫之ヲ聞深ク感悟スル所アリ、往テ為ニ路ヲ啟ク、是ニ於テ其材始テ運搬ニ就ケリ、姫死スルニ及ビ、其遺言ニ依リテ、山上ノ樹根ニ葬リ、更ニ一松樹ヲ植テ其墓ヲ表ス、松ニ阿古耶ノ名アルハ之ニ由レリ、姫ノ死スルハ天武帝慶雲四年、二月十六日ニ

千歳山公園之圖



在リト云
此山、平清水村ニ屬ス、山形市街ヲ距ル、東南十二町強ニ在リ、直立、九一十尺許、温秀ニシテ、一山渾テ松樹、松茸多シ、其香味優等ニ居レリ
西麓、即公園地ナリ、衆木欣欣、百花娟々、雲烟來去、禽鳥和鳴ス、胡枝幾株

山形縣北言抄
一町 滝
蹊ヲ分チ、幽蘭數叢石ニ傍フ、上頭ニ山莊有リ、中
腹ニ六角堂有リ、又酒亭若干有リ、樓ヲ架シ、臺ヲ
設ケテ、登覽ニ便ス、田野萬頃、一望、心目ヲ快爽ニ
ス、又北麓方松寺ニ、中將實方ノ碑石有リ、實方、勅
勘ヲ蒙ハリ、陸奥ニ謫セラレ、阿古耶松ヲ探討ス
ベキノ命有リ、乃奧地ヲ彷徨シ、久フレテ所在ヲ
得ズ、其松ハ、出羽ニ在リト告ル者有リ、是ニ於テ
實方、羽ニ入ラントシ、名取郡ノ途上ニシテ没ス、
一條帝、長徳四年十一月ナリ、從者其遺蹟ヲ此ニ
存スト云

平清水、岩波ノ二村、陶窯數個有リ、埴土ヲ千歳山
字丸山ニ採ル、五六十十年前、常陸ノ人此ニ來リ、陶
法ヲ傳フト云、近年進歩シ聲譽ヲ得ルニ到レリ、
元木村ニ、石ノ花表有リ、路傍草萊ノ間ニ立テリ、
何神ノ門口タルヲ知ラズ、頗ル古色有リ、荒谷村、
六田村ニモ、類似ノ者有リ、徒ニ最上三花表ノ名
ヲ存スルノミ、成沢村ハ幡社有リ、郷社タリ、
高湯村ハ、松杉森林ヲ爲ス、地勢極メテ狹隘、温泉
出ヅ、其質ハ、硫酸礬土ヲ混ズ、疥癬、眼疾、及ビ、風犬
毒虫ノ、咬傷ニ功有リ、湯花ヲ輸出ス、戶數、五十四

戸人口、三百十七人 男百五十三人 女百六十四人

藏王山ノ脉派、南ニ連リテ、突兀タル者ハ、ニツ森

萬丈山、金山峙ナリ、北ニ亘リテ、起伏スル者ハ、地

藏岳、草倉岳ナリ、凡本郡ニ於テ、縣川以東ノ羣岳

此藏王ヲ最高トス、直立五千五百二十尺、高湯ヨ

リ三里餘、山頂ニ湖有リ、オカバト曰フ、周圍九一

里、此山噴火ノ為メニ、峯巒溪澗五彩ヲナレテ、金

妝瑣染セル者ノ如シ、祠有リ、水配神社ト稱ス、其

絶巔本郡ニ属スルヲ、熊野嶽、曰ヒ、磐城ニ属ス

ルヲ、藏王嶽ト号ス、龍山其西ニ接セリ

龍山頂上マデ、高湯ヨリ廿七町、祠有リ、南方ニ石

橋有リ、此山、中古盛昌ヲ極メ、三千坊有リト云、

歌川温泉神ハ、古社ナリ、村民等考證スル所有テ、

立願シ允可ヲ得テ、本年其神号ヲ以テ祭祀セリ

小百川村ハ、七日町ニ接セリ、拂鬼城ノ古蹟有リ、

日本武尊東征ノ時、陣營ノ地ト云ハリ、今天神社

有リ、其境内蓋シ是ナリ

妙見寺村ニ妙見堂有リ、釈迦堂村ニ釈迦ノ木像

有リ、日本三釈迦ノ一ト云、唐松觀音有リ、山腹ニ

高夕寶閣ヲ架ス、西京ノ清水ニ摸擬シタリ、東滑

川ヲ経テ、笹谷越ノ路線トス
 寶沢村ハ、薪炭ヲ出ス尤多シ、炭焼藤太ノ旧趾有
 リ、安貞二年、社ヲ建テ藤太ヲ祭祀ス、蓋シ談村ノ
 鼻祖ナルヲ以テ、里俗今ニ崇信セリ、又礦山有リ、
 銅銀鉛ヲ出ス、此村、藏玉山ノ一路線タリ、頂上マ
 テ四里餘、字荒沢ニ不動瀑有リ、又、觀音瀑有リ
 寶沢ノ東三里字、鍋倉ニ瀑布有リ、上下二級トナ
 リテ瀉ダ、傍ニ萩ノ古木有リ、周圍二尺強、長二丈
 有餘

吉原村桃樹多シ、沼木村郷社有リ、大鷹神社ト称

又、吉原片谷地ノ間、須川北流ス、通航ハ、船町以上
 遡ル能ハザリシニ、近年有志ノ徒、兩崖ノ荊棘ヲ
 闢キ、船ヲ曳テ、字逆卷ニ到レリ、此所、本年、石橋ニ
 改作ス、其製、鸞魁ノ状ニ擬ス、一ノ奇觀ナリ
 須川ハ、上流ヲ前川ト曰フ、置賜郡川樋新田ノ東
 南、烏揚坂ニ發シ、諸水ヲ併セ、金瓶村ノ西ニシテ、
 高湯温泉ノ下流ヲ會シテ、須川ト稱シ、長寄村ニ
 至テ、最上川ニ注グ、此川下流、硫氣ノ為メニ、鱗介
 ヲ生ゼズ、温泉モ亦利害アリ
 片谷地、及ビ谷柏村、多ク蘭ヲ栽テ、農間ニ疊表、或

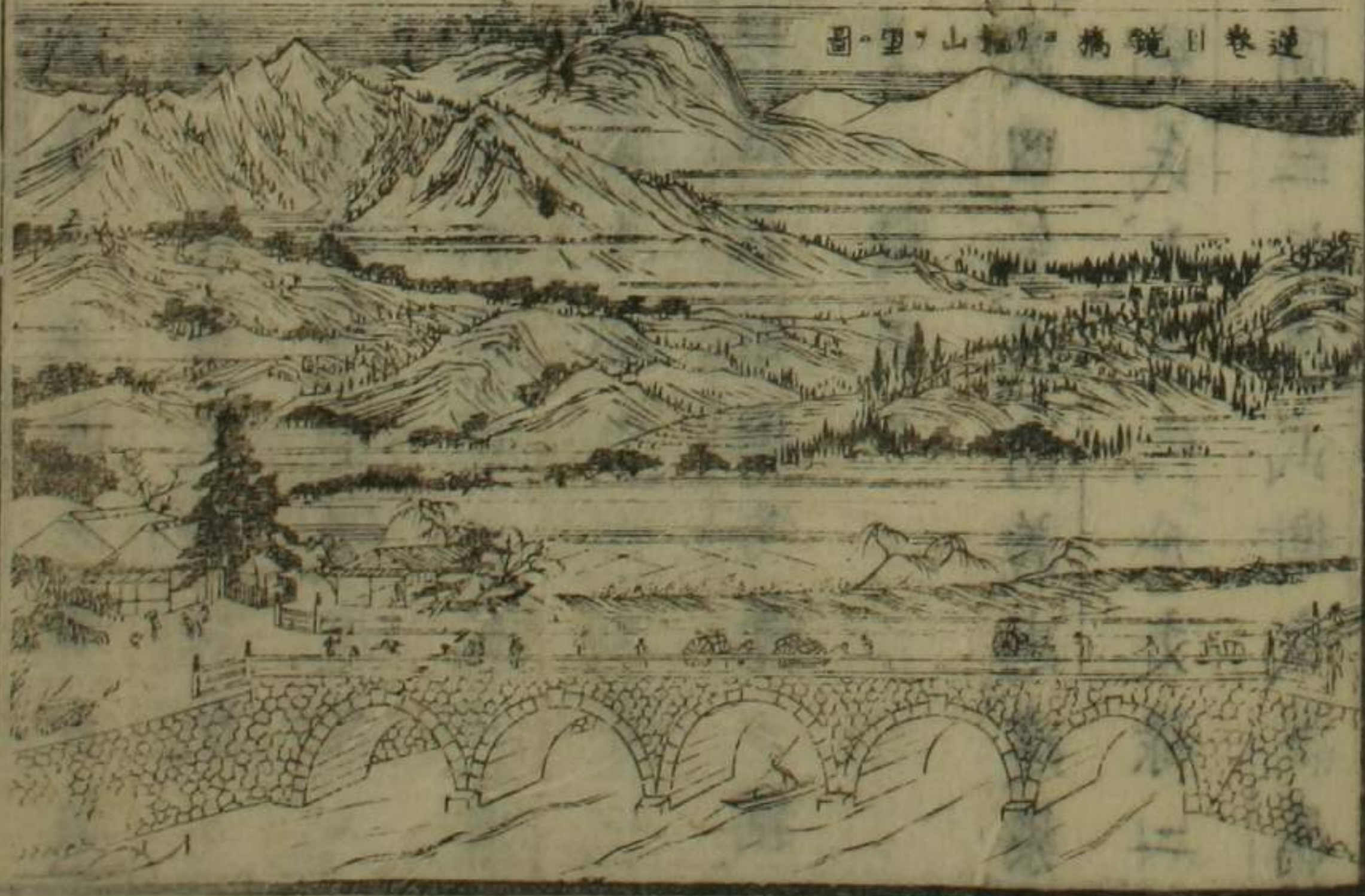
ハ花産ヲ製ス、谷柏ニ、甲箭神社アリ、郷社トス
 此地方、産出スル所ノ米、其質善良ニシテ、管内第
 一等ニ居ル者トス

黒澤村ト、上ノ山ノ間、新道アリ、明治七年十一月
 竣功、有志ノ徒、開鑿スル所ニ係ル、路傍冷泉出ツ、
 明治水ト稱ス、碑アリ、新道開鑿ノ事ヲ記ス

上、山、山野邊、天童ハ、共ニ名邑タリ、上、山ハ、山形ノ
 南、三里十九丁二間餘ニ在リ、警察分署アリ、市街
 ノ景状ハ、本郡中、山形ニ亞グル繁華ノ地ナリ、東
 西八丁、南北全シ、六町ニ分ツ、養蚕ハ、頗ル其業ニ

巧ナリ、戸數、七百三十二戸
 人口、四千百二十人、男二千
 五人、女二千零九十五人、愛宕神社アリ、
 郷社トス
 温泉ハ、殊ニ名ヲ遠通ニ得
 タリ、泉質ハ、食塩ヲ混シ、饗
 土ヲ含ム、婦人産後、腰足痛
 症、痛風、中風、頭痛、瘡毒、跌蹠
 眼病、其他虚弱ノ症ニ功アリ

道巻川橋ノ山ノ里



山形縣志是也

十六 月 谷 月

遠ク東南ニ、聳ユル者ヲ、藏王山トシ、近ク西ニ、提
 レズル者ヲ、白兀山トス、山麓ニ寺有リ、長祿院ト
 曰フ、温泉ノ源此ニ發ス、傳ヘ云、長祿中、僧月秀ト
 云者、山下ニ留錫シ、野雀、日々脛ヲ澗水ニ浸シ、夕
 シフシテ、去ラザルヲ見テ、其傷ヲ浴スルヲ察シ、
 此泉ヲ發見スト、長祿院、鶴脛温泉、鶴脛町等ノ稱、
 皆是ニ由ル、林祭酒ノ碑文、并ニ詩アリ
 上山城ハ、月留城ト名ク、天文四年、武衛義忠、建築
 入テ、居ルニ三世、天正八年、里見氏之ニ代ル、文祿二
 年ニ至テ、山形番城トナリ、同三年、復武衛氏ニ属

シ、慶長十二年、坂氏、寛永三年、蒲生氏、全四年、鳥居
 氏ニ附シ、全年、土岐氏、元祿四年、金森氏、全十年以
 來、藤井信通之ヲ領ス、十世信安ニ至リ、明治革新
 後之ヲ廢ス
 土岐氏ノ時、僧澤庵、罪ヲ幕府ニ得テ、茲ニ幽セラ
 ル、澤庵、松島ニ遊バン、一ヲ請フ、土岐氏之ヲ允シ
 テ、獨往セシム、沢庵、松島ニ詣リ、吟咏數句、其興趣
 ヲ盡シテ歸ル、沢庵ノ放縱人ノ知ル所ナリ、土岐
 氏ノ雅量、今ニ於テ之ヲ稱ス
 虚空藏森ノ館趾ハ、鶴脛町ノ西ニ在リ、小梁川貞

範里見氏ノ鋒銳ニ膏シテ、此ニ敗滅ス、貞範ハ、伊達氏ノ門葉ナリ、貞範ノ暴虐、人民痛苦スル久シ、貞範ノ亡ブルヤ、天正八年九月十三日ニ在リ、闔郷大ニ喜悅シ、毎歳是日ニ値ハバ、以屋餅ヲ搗キ相賀ス、之ヲ福田ノ餅ト曰フ、嗚呼、君主壓制ノ人心ヲシテ、厭惡セシムルヤ、其此ニ至ルカ石曾根村ハ、名馬池月ノ出處ナリ、往古ハ大沼アリ、龍蛇宅ス、因テ龍馬ヲ産シ、駒池ト号スト云、今尚小池水ヲ存セリ關根村ノ乾柿ハ、甘美他所ニ勝ル、高野村ノ産糸

ハ、本郡中ノ優等ナリ、故ニ高野糸、関根柿ノ稱アリ、高松村麻布紙ヲ製ス、文字摺紙ト曰フ、大和ノ吉野ニ産スル者ト一般、長清水村大奉紙ヲ出ス、金山村銅山アリ、又葛粉ヲ産ス、樞下驛以東、路次第ニ險ナリ、金山峠ニ不動堂アリ、即國界トス、樞下ヨリ、一里廿二丁十四間、東京街道ニ當レリ、金山川ハ、金山峠ヨリ出テ、菅平川ハ、菅平ノ觀音滝ヨリ發シ、樞下ニシテ、二流相會レ、東川ト号シ

山形縣志是要上

二十

月

谷

月

上山ノ南ニシテ前川ニ入ル、亦藏王山ニ發スル、
藏王川モ、金谷村ノ西ニシテ、前川ニ入ル

上山ノ西北、九二里、長谷堂駅トス、形勝ノ地ニシ
テ、城趾アリ、之ヲ館山ト稱ス、古戰場ナリ、最上氏

ノ臣、志村伊豆之ニ居レリ、慶長六年九月、直江兼
續ノ侵入ニ當リ、防戦シテ大敵ヲ退ケタリ、是時

上山ハ、里見民部守衛シ、畑谷ハ、江口五兵衛戦死
シテ、終ニ落城ニ及ベリ

觀音堂アリ、田村將軍東征ノ時此ニ陣シ、長谷ノ
觀音ヲ勸請ヘト傳フ、村名蓋シ之ニ由レリ

本沢川ハ、白鷹山ヨリ發シ、長谷堂ヲ貫キ、東流シ
テ、湏川ニ入ル

狸森村ニ、老獸ノ住タル窟穴アリ、里俗狸ノ内裡
ト号ス、此村及ビ沢口村、麻桌ヲ産ス

柏倉村ハ、長谷堂ノ北、一里トス、延享三年以後、堀
田氏分領ノ陣屋アリシ地ナリ、村西ニ、富神山ア

リ、山北ヲ過キ、虚空藏山ヲ經テ、置賜郡中山、萩野
ニ出ヅ、之ヲ虚空藏越ト曰フ、此山一ニ、白鷹山ト

名ク、祠アリ、里俗之ヲ界ノ虚空藏ト稱ス、
村本沢ノ支村、悪戸ハ、布ノ袴地ヲ出ス、赤苧、縞布

ハ、品位充佳ナリ

畑谷村ニ、沼若干アリ、其大ナルヲ大沼ト曰ス、
鰻ヲ産ス、近村北作ニモ、玉虫沼、烏帽子沼アリ、近郷
敷村ノ利水タリ

山野邊ハ、山形ノ西、須川ヲ隔テ、二里餘ニ在リ、
青茅、蚊帳地、白木綿、草履等ヲ産シ、一市街ヲナセ
リ、戸數三百三十二戸、人口千九百八十人、男九百七十五人、女千零五人、最上義光ノ四男、山野邊義忠ノ城趾アリ、
元和八年以後、幕科トナリ、文政八年ヨリ、明治二
年ニ至テ、阿部氏、分領ノ陣屋ヲ置ケリ

山野邊ノ西、九二里、大蔵村トス、其間峯峦隆起ス、
山上ニ、鳥海山神社アリ、里俗之ヲ、小鳥海山ト稱
セリ

長壽ハ、最上川ニ濱シテ、山形ノ西北、三里七丁三
間トス、館趾アリ、最上氏ノ臣、中山玄蕃住セシト
云、八坂神社アリ、郷社トス

支村落合ハ、須川ノ最上川ニ注グノ地ナリ、故ニ
名ク、戊辰ノ役、閏四月四日、官軍水野藩士、此ニ陣
シ、莊内勢ト戦ヒ、將校戦死シ、餘兵皆散ズ、賊兵モ
亦殺傷アリ

最上川、須川相合スルノ地ヲ、字川ノ口ト曰ス、即
 河岸場ノ一ニシテ、上郷ノ咽喉ト稱ス可シ、大船
 ノ通運スル者、概テ此河岸ヲ限トス、都テ此地ニ
 於テ、荷物分配ハ、取扱ヲ為セリ、須川ノ東岸ニ寺
 津河岸、船町河岸アリ、須川ニ沂入シテ、漕運スル
 ヲ、小船送ト曰フ

山形ノ東北、雙月村、和合村ハ、紙ヲ製シテ業トナ
 シ、印役村、山家村ハ、糶ヲ造リテ産トナス、風間、切
 畑ノ二村ハ、砥石ヲ輸出ス、風間ニ、藥師堂アリ、
 印役ニ、神明社アリ、郷社ナリ、風間ニ、藥師堂アリ、

山家ニ、金勝寺、五百羅漢アリ
 山家村、字鬼越ノ東一里餘、深沢ノ滝アリ、高五間
 餘、下流ヲ野呂川ト曰ス、高瀬川ニ合ス、滝ニ浴ス
 ルノ不動尊アリ

山寺ハ、山形ノ東北、三里二十八丁餘ニ在リ、二口
 越ノ路線トス、西ニ曠漠タル原野アリ、荒谷原ト
 曰フ、天童ヨリスレバ、原町村ヲ經テ、此原ニ出テ、
 山形ヨリスレバ、落合、風間ヲ過テ、亦此野ニ由ル
 闔村、凡四百餘戸、雞犬相聞エ、籬落相連ル、四面群
 巒ヲ環ラシ、中央一川ヲ通ズ、之ヲ立谷川ト号ス、

其地字ヲ以テ五部ニ分ツ、西ヲ地藏堂ト曰ヒ、東
 ヲ千手院ト曰ヒ、南ヲ所部ト曰ヒ、馬形ト曰ヒ、中
 部ノ川北ヲ河原町ト曰フ、旅店アリ、町北ノ寺、即
 寶珠山立石寺是ナリ、清和帝勅許ノ古刹ニシテ、
 僧圓仁ノ開基ト云ヘリ、縣下第一、名勝ノ區寰ト
 ス、東ニ日枝神社アリ、右ニ二ノ宮、三ノ宮アリ、左
 ニ聖如堂アリ、假ニ學校トス、又念佛堂アリ、梵音
 間斷ナシ、枕石、手懸石アリ、総門ヨリ中腹ニ至リ、
 磴路ヲ登ル、凡六七町、漸高ク漸峻ナリ、溪澗ニ梯
 槁ヲ架ス、右側ニ彌陀洞アリ、橋ヲ過テ石門アリ、



胎内竇ト曰フ、背後ニ堂
 アリ、梯シテ、屋上ニ昇ル、
 又堂アリ、堂後鉄鎖ヲ垂
 ル、縋リ以テ陟ル、崑上ニ
 松樹鬱茂ス、釈迦堂アリ、
 此邊眺望佳ナリ、溪ニ沿
 フテ降ル、崑窟ニ觀音ノ
 立像ヲ置ク、小池アリ、血
 ノ池ト名ク、又登ル數十
 歩、位牌堂アリ、經堂アリ、

上頭ニ佛堂アリ、堂側卒都婆ヲ賣ル、堂前ニ一井
アリ、獨銚水ト名ク、此ヲ此山前面ノ極ト為ス
総門ヨリ左スレバ、入定窟アリ、傍ニ関山堂アリ、
築造頗ル壯麗、天狗岩アリ、最著名トス、高百尺餘、
大柱ヲ植ル如シ、寺ノ背上ニ當レリ、寺号之ニ繇
ルト云、傍ニ松樹アリ、縁攀シテ、崑上ニ涉ルヲ得
ハシ、崑ノ前面ニ洞アリ、十六羅漢ノ像ヲ置ク、其
他山ノ中外、佛堂僧院、點々散布ス、烏帽子崑、甲崑、
塔石、龜石、燈盞崑、皆形状ヲ以テ名ク、連理山茶花、
安樂梅、垂水ノ觀音等アリ、七福神崑ハ、洞穴アリ、

自然房室ノ區別ヲナス、彼七木七石ノ如キハ、人
ノ熟知スル所ナリ
西曆一千八百七十五年、佛蘭西人、ゴエツ氏、此地
ニ遊歴シ、大ニ賞賛シテ、奇境ト稱セリ、然レモ、是
特ニ皮相ノ見ノミ、其山ニ入ル深ケレバ、境愈峻
ニシテ、景愈奇ナリ、彼面白山、石橋、七滝等ノ如キ
ハ、山寺三大、奇景ト稱セリ、探ル者蓋稀ナリ
面白山一ニ奥院ハ、千手院ノ東北、凡三里ニ在リ、巖角
ニ縋リ、樹根ヲ攀テ、四十八瀑布ニ沿フヲ躋ル、溪
間ニ鉄槩ノ如キ者出ヅ、即面白權現廣前ナリ、又

登ル五十町許、地藏滝有リ、瀑底一線水ヲ噓テ、上
ル一丈許、其奇比類少ナレ、前ノ四十八滝ノ如キ、
藤滝有リ、雷滝有リ、奇形異状一々枚擧スルニ遑
アラズ、山上ニ湖有リ、周圍三里許
石橋ハ、馬形ノ東北、三里強ニ有リ、路傍ニ鸚鵡沢
アリ、前崖ニ洞穴アリ、人語返響シテ、相應答スル
者ノ如シ、因テ名クト云、溪澗ニ沿テ、岩石ヲ攀登
レ、或ハ繩下ス、凡三里、幽邃駭クベシ、一大石有リ、
前ニ當テ横ハリ、谿脉ヲ塞ク、之ヲ前石橋トス、其
下一町許、所謂石橋ナリ、長七八十間、中間幅四五

間、左右幅三四十間、兩邊直立、削ルガ如ク、中央ニ
大餘ノ方穴有リ、溪流穴ヲ穿テ、直下スルニ丈
許、一大瀑布ヲ為ス、橋上古木繁茂ス、樹間ヲ來往
スルヲ得ベシ、橋ノ後面、甚高カラズ、前面ハ峻立
天ヲ掩ム、皆神構鬼蹟、實ニ奇怪ト稱スルニ足レ
リ、左右崖壁、直立千仞、此ニ至テ人跡全ク窮マレ、
此地ニ口越ノ正北ニ當レリ、七滝ハ、馬形ノ東南
三里許ニ有リ、此瀑布七層ヲ為ス、故ニ名トス
立谷川ニ、田樂淵ノ名有リ、奔流崖窟ヲ齧テ珠ヲ
噴ク、亦景趣有リ、水源、東方山間ニ發スル諸水皆

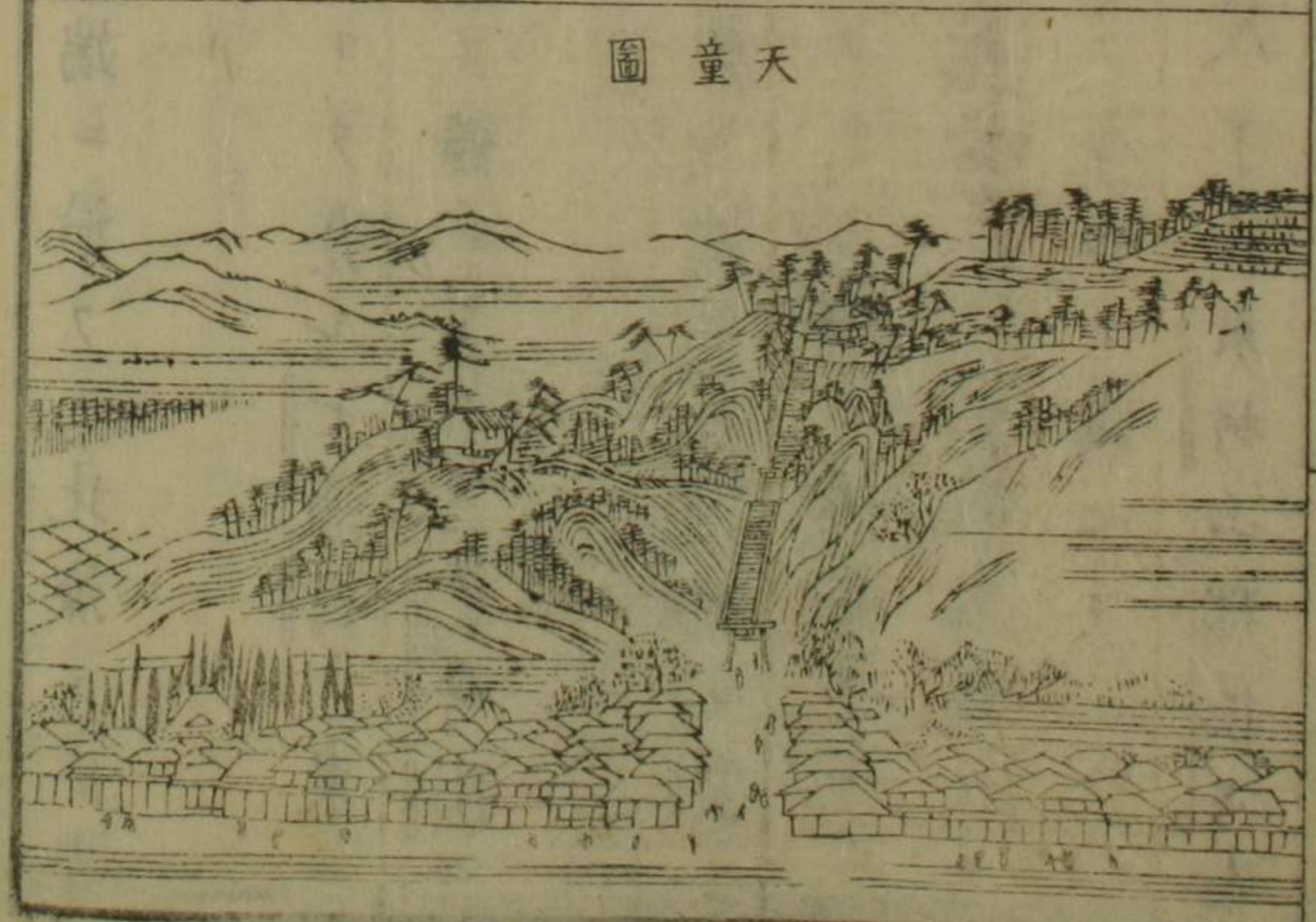
此ニ注ギ、一道トナリ、下流ハ漆山、清池ノ間ヲ過
ギ、灰塚村ヲ貫キテ、須川ニ入ル
柱石ヲ産ス、最奇物ト称セリ、大小長短有リ、其方
正殆ンド、人工ヲ經シ者ノ如シ、堅牢ニシテ、實用
ニ堪タリ、又切石ヲ出ス
東山ハ上下ニ村トス、二口越ノ一路ニ属セリ、支
村、三寶岡ノ風立寺ニ、阿弥陀ノ木像有リ、尤著名
トス、又猪鼻山ニ館趾有リ、字小菰石沢ニ大豆ノ
良品ヲ出ス、槩スルニ東山ハ豆ニ名有リ
馬見ヶ崎川、二源有リ、一ハ藏王山ヨリ出テ、一ハ

笹谷山ニ發ス、銅町ノ街端ニ沿フテ北流シ、成安
村ノ北ニ至テ、須川ニ入ル
高瀬川ハ、高沢村ノ溪間ヨリ發シ、七浦村ノ東ニ
シテ、野呂川ヲ合シ、同村ノ西ニシテ、馬見ヶ崎川ニ
會ス
七浦木綿絞ヲ製ス、輸出多シ、村西、高櫛村ニ、最上
兼頼ノ三男、義直ノ館趾アリ、八幡ノ郷社アリ
漆山村モ亦最上、滿頼ノ館趾アリ、弘化三年ヨリ、
明治革新ニ至リ、秋元氏ノ分領ニ属セリ
天童ハ、山形ノ正北、三里八丁餘、東村山郡役所、在

山形縣志卷之七

リ、警察分署アリ、商店、旅
 店、相錯ハリ、行旅絡繹夕
 リ、東西三丁三十四間、南
 北十二丁三十間、市坊七
 戸數六百八十四戸、人口
 三千五百五十二人、男千
 四十六人、女千八百零六
 人、皆村落ナリ、往古ハ此
 地ヲ村山ト稱ス、郡名之ニ
 由ルト云ハリ

天童圖



此地、明和四年以來、織田氏ノ采邑タリ、天保元年、
 置賜郡高畑ヨリ移住シ、新ニ居館ヲ建築ス、三世
 之ニ居ル、今ノ田窪町是ナリ、戊辰ノ役、莊内兵ノ
 侵掠ニ當リ、閏四月四日、兵燹ノ為メニ、館邸、市街
 共ニ焼亡セシガ、稍旧ニ復セリ

城山一ニ、愛宕森ト号ス、山南ニ、愛宕社アリ、造構
 壯麗ナリ、又舞鶴山ト名ク、若木森、占四王森ヲ併
 セテ、出羽ノ三森ト稱セリ、天正年中、最上頼直、此
 ニ築城ス、其後頼久ニ至リ、山形ノ命ヲ奉セズ、屢
 戦争ニ及ベリ、天童、延沢、成生、飯田、長瀨、尾花、沢、楢

山形縣志卷之七

三月廿四日

岡六田之ヲハ館ト稱ス各勢威アリ頼久當時其
旗長タリ延沢ノ館主日野能登守梟勇ニシテ智
畧アリ後日野氏山形ニ貳ス頼久遂ニ没落スト
云天正十三年山形ニ屬ス

舞雀山ニ建勲社在リ織田右府ノ靈ヲ祭ル縣社
兼郷社タリ明治三年九月創祀ス山腹ニ織田氏
ノ臣吉田大八ノ影堂アリ木像ヲ安置ス政府祭
奠料ヲ賜給ニ招魂社ト稱ス同藩戰死ノ士若干
人ヲ併セ祭ル吉田氏名守隆大八ト通稱ス慷慨
ノ士ナリ大義名分ヲ主張シ斡旋尽力ス賊ハ為

メニ強迫セラレテ遂ニ自刃ス戊辰七月十七日
ナリ
渡邊氏地球運轉ノ器械ヲ發輝シ神保氏紙塑人
体ヲ製ス洋語(キンストレッツキ)ト曰フ共ニ聲譽
ヲ得タリ

北目村ハ天童ノ南ニ直接ス寛永三年土屋氏分
領ノ陣屋ヲ置久明治四年以後廢セリ
天童ノ東北九一里山元村ニ若松觀音有リ著名
トス又松茸ニ名アリ隣村貫津ハ養蚕ヲカメテ
貫津糸ノ稱アリ

道滿村ニ春日神社アリ、郷社トス、村北、乱川有リ、
關山越ニ發源ス、田麥野村ノ山中ヨリ流出セリ、
押切川ヲ併セテ、最上川ニ入ル
神町ノ東北、若木原有リ、幅凡一里、長三里餘、中間
ニ若木山有リ、甚高カラズ、一窟石ノ土ヲ負ヘル
者、山腹ニ胎内竇有リ、山上ニ若木神社有リ
川原子ノ東、水晶山有リ、一山姫松多ク、山上ニ大
和神社有リ、社傍水晶石有リ、牡丹花ニ似タリ、石
側ニ窟穴有リ、水晶ヲ孕ムト云、古來其深サヲ知
ル者好まざり、蓋ニ自天ノ穴來タリト云

東根、長瀨、楯岡、尾花沢、大石田等ハ、本郡北部ノ名
邑タリ、東根ハ、往時小田嶋庄ト云、駄路ナリ、一市
街ヲ為セリ、市坊二十一、東西十四町、南北八町、戸
數七百五十三、人口三千九百五十一人、男千九百八十九
女千九百六十五人、山形ヲ距ル五里、村ノ中央ニ城墟有
リ、東西百十七間、南北七十間、五稜形ヲナシ、溝壘
ノ旧摸ヲ存セリ、正平二年、小田嶋長義建築ス、應
永以後、最上氏ニ屬シ、元和八年ヨリ、鳥居氏ニ屬
シ、寛永十三年、保科氏ニ屬シ、全二十年、幕料トナリ、
正保元年ヨリ、松平氏ニ屬シ、寛保二年、又幕料ト

山形縣地誌提要止

ナル、爾後、安政二年ニ至リ、松前氏ニ屬シ、明治革
新ノ際、尾花沢ト共ニ、酒田民政局ニ屬シ、全三年
本縣ニ屬ス

若宮八幡ハ、東北ノ山麓ニ在リ、郷社トス、小田嶋
長義ノ勸請ト云ハリ

字鷺ノ森ニ、古戰場アリ、慶長五年、上杉氏ノ侵掠
ニ方リテ、里見氏ノ、應戦セシ所ナリ

白水川ハ、源ヲ黒伏岳ニ發シ、東根ノ東南ニシテ、
靛岳ヨリ出ル、日塔川ヲ合セ、松沢村ノ南ヲ過キ
テ、最上川ニ入ル

野川アリ、源ヲ五所山ノ西南ニ、發シテ西流シ、野

田村ノ西ニシテ、最上川ニ入ル

関山ノ南、猪ノ沢村ノ沢間ヲ鑿テ、陸前ニ通スル、

新道ヲ開クノ舉アリ、明治九年、以來着手ス、有志
輩ノ、尽力ニ係レリ

東根ノ近村、悉ク煙草ヲ産ス、就中、関山、沼沢ノ産
ヲ上等品トス

六田ノ南、若木原ニ、板垣新田有リ、板垣氏ハ、東根
ノ人ナリ、明治三年以來、自費ヲ以テ、墾拓ニ從事
シ、現今、六十町步餘ノ新圃、民家十六戸ヲ開ケリ

荷口村ノ涌泉ハ、清冷澄潔、且所在地ヲ鑿ツ、數尺ニ及バスシテ、滾々タリ、故ニ毎戸井ヲ貯ヘザルナシ、一ノ幸福ト云フ可シ、其下流相合シテ、荷口川ト号シ、最上川ニ注ク、此川鮭ヲ産ス、八幡社アリ郷社トス

長瀨村ハ、六田ノ西北ニ在リ、東西十一町二十間、南北十町四十間、山形ヨリ七里、戸數五百三十三戸、人口二千八百四十八人、男千四百五十八人、女千三百九十八人、城趾有リ、村ノ中央トス、凹字ノ形ヲナス、兼頼曾孫、滿宗之ニ居ル、後天童ノ旗下、八館ノ一タリ、長

瀨左衛門尉ト称セリ、享保中、金貨吹替ノ舉有ルニ方テ、村民嫌疑ヲ懷キ、大ニ騷擾ス、當時ハ、幕料タリ、山形領主堀田氏之ヲ宰ス、主謀者刑ニ處シテ、事終ニ熄ム、土俗之ヲ長瀨一揆ト云、寛政十年、米津氏居住ス、明治三年、同氏轉封以後、本縣ニ属ス、村ノ西、十三町ヲ隔テ、本楯城趾ト云フ有リ、南北三町、東西百步、誰氏ノ經營、居住ト云フヲ知ラズ

楯岡駅ハ、山形ノ北、七里ニ在リ、秋田街道ニ當テ、繁華ノ地トス、北水郡役所有リ、街衢直線ニシテ、

屋宇井然タリ、東西六町十四間、南北十二町五十
 五間、市坊十七、戸數七百七十一、人口四千七百
 六十三人、男二千三百九十二人、女二千三百七十一人、八幡社ヲ郷社ト
 ス、
 城趾有リ、亦八節ノ一ニシテ、楯岳上總介ト称ス、
 其前、蕪頼ノ曾孫、滿國、居住ス、之ヲ築城ノ創メト
 ス、其地、岡陵ニシテ、靑岳ノ山脈ニ通ズ、
 靑岳ハ、北方一里餘ニ在リ、北、御堂森ニ亘リ、東、五
 所山ニ連レリ、
 五所山ハ、觀音寺村ヨリ、頂上ニ至テ、九、七里、辨天

岩有リ、即御前ト稱ス、雌雄瀑有リ、共ニ高十五丈、
 強、其他四十八瀑有リ、東二里餘、大峯トス、胎内竇
 有リ、鑊鎖ヲ垂ル、又、燒峠有リ、日光月光等ノ峯有
 リ、都テ五峯故ニ五所山ト名ク、全山ノ姫松、列風
 ノ為メニ、挺立スル能ハズ、枝幹地ニ俯伏シテ、蟠
 延繁茂シ、郭橐駝ノ手ヲ經ル者ノ如シ、間、樹上ヲ
 歩スルニ足ル所有リ、
 逆川有リ、御堂森ヨリ出テ、南西流シ、塩川村ノ南
 ニシテ、最上川ニ入ル、最上川ノ漲溢ニ方ルヤ、此
 川逆流ス、故ニ名ク

最上川三難所圖



塩川村、元貝塩ト名久、古井有リ、其水頗ル鹹シ、字基點ニ切石ヲ出ス、近年最盛ト最上川、三難所有リ、其一樽石川合流ノ以南、東岸塩川村ノ地先ニシテ、字基點ト曰ク、水中突出スル、許多ノ嵩石、大小形状ノ異有リト雖、碁子ヲ點スルニ似タリ



故ニ名久川ノ中心、其幅七八間、乃至一三十間、其深百尋、長凡五六百間、兩側悉ク磐石ニシテ、甃ノ如シ、磐上平水ニ尺ニ満タズ、故ニ船深キ處ヲ行ク、委曲回旋、沿沂共ニ難シ
其二、三河瀬ト曰ク、東岸長嶋村ノ南ニ在リ、磐石出汲多ク、淺端ニシテ、瀑布ノ如

山形縣地誌提要上

山形縣地誌提要上

キ者三層故ニ名ク、亦喘々其恐ル、ノ處タリ
 其三、西岸富並村ノ地先、字隼ノ瀨ト号ス、其名之
 ヲ水勢注流ノ急ナルニ取ル、川形、富礁ノ洲ヲ為
 ス者、二道二層トス、併セテ、長九二百間許、船ヲ挽
 テ、其中流ヲ直遡ス、船一タビ操執ヲ失ヒ、僅カニ
 歌仄スレバ、百方進ム能ハズ、亦保持スル能ハズ、
 是時ニ臨ムヤ、速ニ其索ヲ斷シテ、船ノ奔逸ニ任
 ス、然ラザレバ、索ヲ執ルノ水夫モ併セテ、流没ノ
 患有リトス、西ニビツキ岩有リ、東ニ黒岩、屏風岩、ガ
 マ岩等有リ、奔逸ノ船之ニ觸レバ、忽チ破碎ス、是

ヲ以テ隼ノ瀨ヲ最難トス、若彼ビツキ岩ヲ除却ス
 ルニ及バ、中流ヲ行カズレテ、西岸ニ由ル、即易
 ヲタルノミ、故ニ近年頻リニ、カヲ摧鑿ニ勞スト
 雖未ダ全ク其功ヲ遂ルニ至ラズ
 楯岡ノ南北、紅花ヲ産ス、松沢、蟹沢ノ二村、最名有
 リ、又青芋ヲ出ス
 尾花沢ハ、越後高田ト、飛彈高山ヲ併セテ、世ニ日
 本三雪ノ稱アリ、北海道ヲ除キテ、之ヲ言フノミ、
 此地、觀岳ニ接近ス、積雪動モスレバ、三四丈ニ至
 ル、窓櫺牖戸ニ當ルノ所、穴ヲ穿チテ、僅カニ明ヲ

引久戸數、四百七十三戸、人口、二千六百三十六人、
男千三百三十一人、女千三百零五人、楯密ノ

北、三里、山形ヨリ十里餘、警

察分署有リ

此地、亦八館ノ一ニシテ、尾

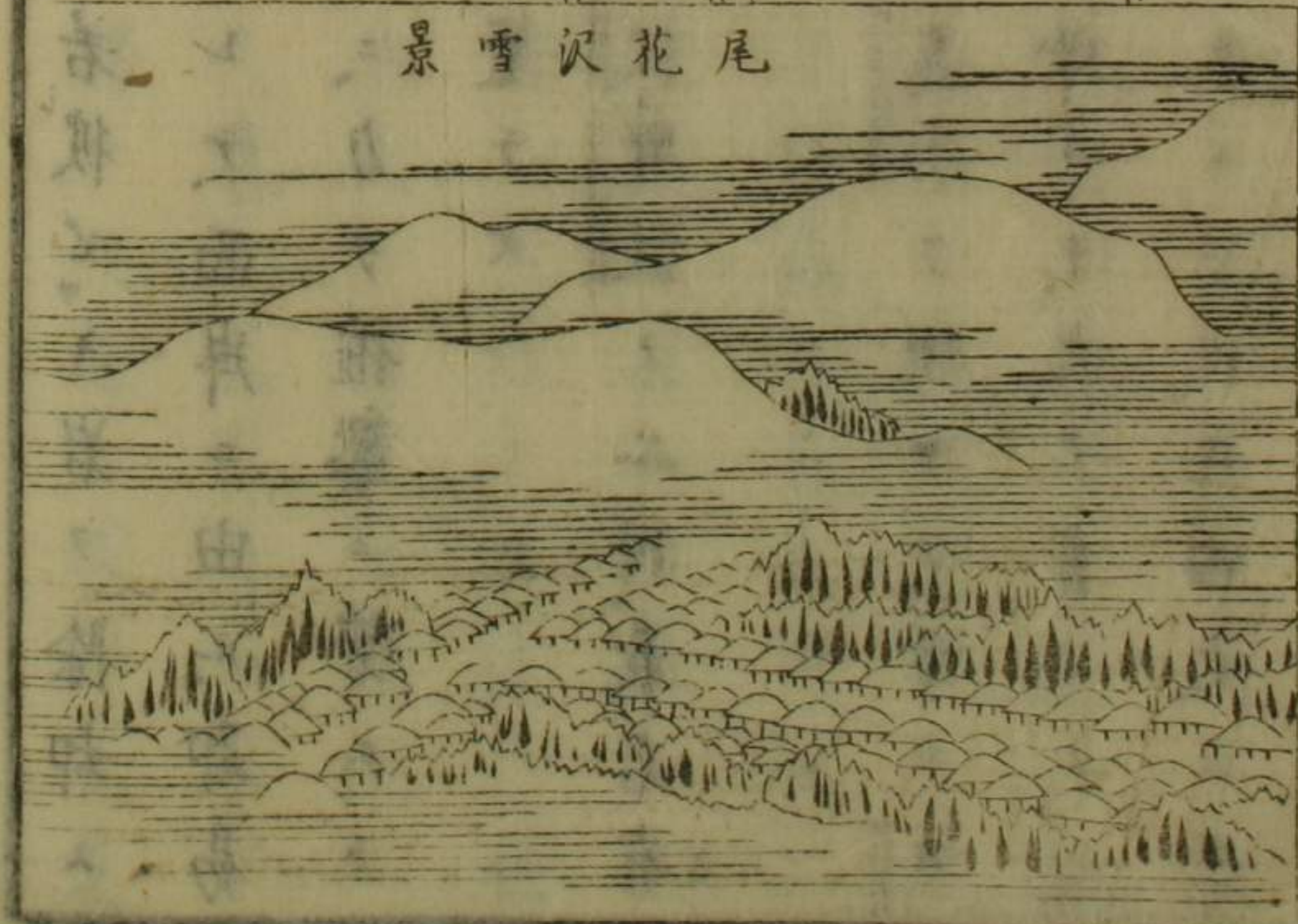
花沢藤左衛門住居セリ、諏

訪神社有リ、郷社トス、正嚴

村、御所神社モ、亦郷社タリ

澤瀉沢ハ、馭ノ西北隅ニ當

テ、風景幽逸ノ地ナリ、管下



名勝ノ一トス、古碑アリ、面ニ、人麿ノ歌ヲ刻シ、背

ニ、長曆二年^戊四月、藤原實方、興立ノ款アリ、古農柴

崎氏ノ園中ニ存セリ

馭北、丹生川有リ、其源一ハ、五所山ヨリ發シ、一ハ、

銀山ヨリ出ヅ、又戸沢山ヨリ發スル、赤生川ト相

會シ、西流シテ、最上川ニ入ル

銀山ハ、往時延沢郷ノ丈村ナリ、延沢銀山ト稱ス、

開礦ハ、慶長度ニ在リト云、其採出ハ、寛永年間ヲ

至盛トス、日ニ七百貫目ヲ出ス、山形領主、鳥居氏

ノ時ニ係レリ、移民次第ニ増加シ、其數三万餘人

ニ至ル、寛永十二年一時休山トナリ、同十七年ヨリ、文政七年ニ至テ、百九十餘年再セ盛ナリ、而シテ古ノ如クナラズ、爾後、涌水ノ為メニ休セリ、或云、銀山ノ礦脉之ヲ獸畜ヲ屠ルニ譬フ僅カニ、其手足ヲ宰セシメ、未ダ其全身ニ及バズト

温泉出ツ、銀山湯ト号ス、泉質銀氣ヲ帶ブ、疝氣寸白等ニ功アリ

銀山ノ西、原野有リ、玉野原ト曰ス、方三里ニ過グ、地味薄カラズシテ、水利有リ

大石田駅ハ、尾花沢ノ西、九三十町ニ在リ、山形ヨ

リ十里、八幡宮ノ郷社有リ、戸數、三百零一戸、人口、千七百四十九人、男九百零三人、女八百四十六人

此地、最上川、樞要ノ河岸場ナリ、舊幕ノ時、川船役所ヲ置キ、通船ヲ調査ス、故ニ大小ノ舟、常ニ輻輳セリ、沿流ノ船、朝發シテ、暮ニ酒田ニ達ス、便ト云フ可シ

西北川ヲ隔テ、斜ニ對スルヲ、川前村トス、築アリ、最上川ノ支流ニ架ス、此築、通船ニ於テ利害ナシ、船ヲ獲ル夥多ナリ

尾花沢ヨリ、蘆沢ヲ經テ、舟形ニ至ル、山形ヨリ十

二里三十一町五十間トス、芦沢、舟形ノ間、猿羽根
峠有リ、即郡界トス

寒河江、谷地、左澤ハ、縣川以西ノ名邑ナリ、寒河江
ハ、原郷名ニシテ、一ニ佐藝ニ作ル、古昔ハ單ニ西
根ト曰フ、本郡中ニ於テ、東根ト共ニ、最早ク開ケ
シ地ナリト云、其後、楯西、楯南、楯北等ノ諸村ヲ併
セテ、寒河江ト稱ス、東西十三町五十九間、南北三
十一町三十六間、市坊十戸、數千百三戸、人口五千
九百零五人、男二千九百七十四人、山形ノ西北
四里十九町二十六間

楯西ニ、警察分署アリ、郷社ハ、幡ノ宮有リ、楯南ニ、
西亦郡役所アリ、又、病院有リ、山形ノ分院ト云、道
村多クハ平坦ニシテ、道路四通シ、街衢繁華ナリ、
中央ニ城趾ヲ存シ、北ニ、寒河江川有リ、最上川ニ
入ル
鎌倉ノ時、大江廣元ヲ男、親廣築城シテ、子孫十八
世ニ傳フ、寒河江四郎隆基ニ至リ、最上義光ニ侵
掠セラレ、敗死シテ、臣族皆降り、所領悉ク山形ニ
歸ス、尔後、義光ノ男、義康、二男、家親等之ヲ居レリ、
元和八年、以後、山形領ニ属シ、寛永二十年、幕料ト

ナル、戊辰四月、莊内兵侵入シ、天童其他ヲ畧シ、頗
 ル氣焰ヲ張レリ、同五月、奥羽同盟以來、此ニ守衛
 シ、九月廿日、官軍ヲ長岳山ニ支ヘ、激戦シテ終
 敗散ス、王政革新ノ際、柴橋村ト共ニ、酒田民政局
 ニ属シ、明治三年、本縣ニ属ス
 長岳山ハ、南^北方ニ在リ、一丘垤ナリ、慶應年間、幕府
 農兵ヲ募ルニ當リ、此山ニ、練兵場ヲ構ヘ、兼テ公
 務ヲ宰スル所ト、為サシトシ、大ニ土木ヲ起セシ
 成、功ヲ竣ハズシテ沿革セリ、戦死人、若干ノ墓有
 訓西ニ警奉々界々ハ、戦跡ハ都ハ宮市ハ、津南

柴橋ハ、寒河江ノ西南二十三
 町餘トス、曾テ、幕料ノ陣屋
 在リシ地ナリ
 八鍬村ハ、寒河江ノ西北ニ在
 リ、闔戸簾ヲ製シ、八鍬簾ノ
 稱有リ
 橋有リ、長百間許、水患ヲ避
 ル為メニ、杭柱ヲ施サズ、川
 北、十六村、協同ノ造構ニ出
 ズ、卧籠橋ト名ク、北崖ハ、嵩

白岩卧籠橋圖



山形縣地誌提要上

三十九

月 拾 月

石嵯峨タリ、其橋ヲ架スルノ所、中断シテ、車馬ヲ
通マズ、崖頭、舟木、薪、鬱トシテ、空ヲ蔽ヒ、洞窟ニ
入ル如シ、橋ヲ望ム、頗ル佳ナリ、橋ヨリ望ム、亦佳
ナリ、石出水激シ、雪ヲ漲ラシ、花ヲ飛シ、忽チ一碧
ト為テ流ル、即寒河江川ノ上流ニシテ、白岩川是
ナリ

白岩川ノ上流、一ハ朝日嶽ノ北ヨリ發シ、北流シ
テ、笈沢川ト曰フ、一ハ石剗川ト号シテ、其源湯殿
山ノ南ヨリ出テ、南流シ、月山沢村ノ西ニシテ、相
會シ、更ニ東流ス、其他水沢川ハ、岩根沢ノ山間ヨ

リ發シ、熊野川ハ、葉山ノ西ヨリ出テ、實沢川ハ、葉
山ノ南ヨリ發シ、皆南流シテ、白岩川ニ入ル
此川、砂金ヲ産ス、其採出ノ方ハ、鍬鍬ヲ以テ、水底
ノ石ヲ剗テ退ケカツサ鍬ノ如ニテ、砂ヲヨツカイ
箕ノ如ニ移シ入レ、之ヲ水中ニテ、和ク篩ノ如クモノ
上ニ流セバ、砂ハ流レ散シテ、金ト鍬トヲ留ム、乃
之ヲ陶板ニ載セ、又水中ニテ陶汰シ、鍬砂ヲ流シ
去テ、即純金ヲ得ルト云、一周年採出、凡五百匁、代
價、凡九百六十圓トス、又鮎ヲ産ス、其味他所ニ優
レリ

慈恩寺村ハ、川北ニ在リ。テ、全戸崔嵬ニ家ス、景色
 愛スベシ、葉山ノ麓南ニ方レリ、白岩神社有リ、又
 彌勒堂有リ、中世佛地ト稱ス、大江氏別當タリ、最
 上院ト号ス、華藏院、寶藏院、學頭タリ、共ニ巨刹ト
 稱ス

葉山ハ、田代村ヨリ三里、直立凡廿町餘、山上ニ、白
 岩神ノ本社有リ、其麓最上郡ニ亘レリ
 幸生村ニ銅礦有リ、葉山ノ東南麓ニ接ス、天和二
 年、發見ス、爾後盛衰沿革有リ、天明治八年、七月、以
 來、踏區及地タリ、一周年採出、凡壹万貳千零五拾

五貫六百匁、代價壹万五千九百零四圓トス
 全村字立右ニ、硯石ヲ出ス、二十六年、前、白岩ノ人
 鈴木氏、其業ヲ開ク、現今、彫刻ヲ以テ、業トナス者、
 二十餘戸ニ及ベリ
 田代村ノ東北ニ、二ノ岡巒アリ、葉山ノ一脉ナリ、
 前九年ノ役、賴義東巒ニ陣シ、貞任西岡ニ陣ス、激
 戰數日、貞任戰疲、糧尽テ、白晝匍匐シ、罍ヲ越エ
 テ遁ル、因テ晝這山ノ号有リ、麓ニ瀑布有リ
 白岩村ハ、往時白谷ト稱ス、館跡有リ、白鳥ノ門葉、
 白岩帶刀居住ス、最上義光ニ并セラレ、後莊内ノ

一族酒井長門守之ニ居ル政治暴壓多久、下民堪ル能ハズ、黨ヲ結テ乱ヲ作シ、領主ニ逼ルニ、帝旗竹槍ヲ以テシ、然ル後之ヲ幕府ニ訴フ、酒井氏嗣無シ、家終ニ滅ビ、主謀者モ亦刑ニ處ス、寛永十二年ノ事トス、尔來幕料トナリ、革新以後本縣ニ属ス、八幡社有リ、郷社ナリ、支村上野ニ温泉有リ、能ク瘡疥ヲ治ス、白岩以西、川ニ沿フテ上ル、湯殿山及ビ、雀岡ノ道路ナリ、岩根沢村ニ日月寺有リ、岩根沢口ト曰ク、温泉有リ、支村横曲ル月山ノ脉、彙横タハレリ、故ニ名久、八

岳ニ分ル、因テ又八聖山ノ稱有リ、瀑布有リ、高百尺、勝景ノ地トス、又沼平館有リ、白鳥十郎ノ家臣、東海林隼人ノ住セシ所ト云、志津村、一ニ清水ニ作ル、冷泉出ツ、寛永中、砂子関村ヨリ、民戸十四ヲ移シ、以テ行旅ニ便ス、志津、大綱ノ間、凡六里、大山越トス、嶮峻言フ可ラズ、通常ノ路程ニ比スレバ、其勞十倍ス、故ニ字シテ、六十里越ト号スト云、寒河江ヨリ志津ニ至テ、九里半強、大井沢、一ニ笈沢ニ作ル、大日寺有リ、笈沢口ト曰



社有り、郷社トス
 城趾有り、大江廣元、七世彈
 正之時、創築ス、相傳フルハ
 代、世々左沢ヲ氏トス、其孫
 ヲ政周ト曰フ、最上義光ノ
 令ニ應レ、長谷堂ノ役ニ奮
 戦レ、終ニ之ニ死シ、嗣無シ
 テ絶ス、最上氏、日野光綱ノ
 城代ト為ス、元和八年以後
 酒井氏ニ附シ、慶安年間ニ

山形縣志

ノ亦三山路線ノ一タリ
 白岩川ノ西北、都テ田圃ニ乏シク、養蚕ヲ業トナ
 シ、且三山行者ノ往來ニ資リテ、産ヲ助ク、綱取、砂
 子、関、大井沢ハ、上等ノ紙ヲ製ス、又川南ノ吉川村
 毛紙ヲ出ス、近年盛ンナリ
 左沢ハ、寒河江ノ南、九二里ニ在リ、山形ヲ距ル六
 里七町三十一間、山ニ接シ、川ニ枕シ、駄路三曲、商
 賈肆ヲ列シ、物貨ヲ積ミ、以テ近傍諸村ノ需用ニ
 供シ、頗ル市街ノ體裁ヲ成セリ、戸數、三百八十七
 戸、人口、二千三百四十五人、
男千八百八十一人
 女千六百六十四人
 八階

至テ、又酒井氏ノ分知、松嶺領ニ属ス、尔後ノ沿革、
松嶺ニ同シ

馭北ニ、愛宕山有リ、眺望佳絶ナリ、馭南ニ、漆川有
リ、朝日嶽ニ、茨源シ、最上川ニ入ル

栗木沢村、大隅村ノ間、新夕ニ橋ヲ架ス、長三十六
間半、幅三間、明鏡橋ト名久、水ヲ距ル三丈餘、其製
刎橋ナリ、有志者ノ協力ニ係ル、明治九年、夏月、落
成セリ、尔來行客輸品ノ、便宜知ル可ク、最上川此
他橋ナシ

此地方、五十餘村、最上川ノ東西ニ沿テ、テ散布シ、

西五百川、東五百川ト曰フ、生糸ヲ産ス、青苧ハ主
眼ノ産物ナリ、其上等品ヲ、七軒苧ト号シテ、大沼
村地方ヲ最トス、越ノ小千谷ニテ製スル、有名ノ
縮ハ、即此地ノ苧ニ資レリ

大谷村、天満神社ノ神官、白田外記ハ、勤王ノ士ナ
リ、戊辰四月、鎮撫総督府ノ令旨ヲ體認シ、各村巡
視ノ途中、白岩川ノ邊ニ於テ、賊徒數名ニ、暴殺セ
ラル、政府招魂料ヲ賜給シ、子孫其墓ニ、祭奠セリ、
沼山村ニ、沼有リ、長沼ト曰フ、東西三町二十間、南
北五町、大沼神社有リ、郷社トス

大沼圖



大沼村ノ浮島ハ、有名ノ勝
區ナリ、左沢ノ西南、三里十
一町、山形ヨリ九里餘、峻坂
仄径ニシテ、丘壑幽僻ナリ、
只猿聲鳥語、風籟溪響ヲ聞
クノ之、其沼南北、三百五十
間、東西二百間強、時有リ、大
小ノ浮島、聚散離合ス、小嶋
ノ雙々相並ブハ、鴛鴦ノ翎
ヲ交エテ、波間戯ル、如ク、

大島ノ徐々漸移ルハ、巨鼈ノ山ヲ負ヒ、洋中ニ泛
グニ似タリ、南ニ浮島神社有リ、四崖ノ山勢、甚高
カラス、位置最好シ、松杉ノ古樹、櫻花楓葉、亦頗ル
觀ルニ足レリ、浮島ハ、大小通計六十六個ト云フ、
赤ダ、實驗ヤザレトモ、土人ノ言、此ノ如シ
ハ、沼ノ館ハ、幾志美作守居住ヤリ、最上義光ニ畧
ヤラル

朝日川ニ源有リ、朝日嶽ニ發スルヲ、旭俣ト曰ヒ、
前朝日一名黒倉山ヨリ發スルヲ、黒俣ト曰フ、相
合シテ東流シ、字湯ノ瀬ノ東ニシテ、置賜郡ノ葉

山ヨリ源スルヌル俣川ヲ會シ、立木太郎ノ兩村
ニ沿ヒ、松程村ノ北ヲ過キテ、最上川ニ入ル
立木村ノ西南九一里、字木川ト曰ヘル地ニ、民屋
一戸有リ、置賜郡ヨリ、大井沢ニ至ルノ路線ニ當
レリ、又此ヨリ朝日嶽ニ登ルノ路脈有リ、至險ニ
非ラズ
湯ノ瀨ハ、木川ヨリ二里餘、温泉出ヅ、明治十年、發
見シ、村民相謀テ、開泉ノ舉有リ
朝日嶽ハ、縣川以西ノ高峻ナル者ナリ、山勢東北
ニ起伏シテ、前朝日庄司、大小檜原、石見堂、大越、大

小仙人、姥カ岳、仁田山、ハツ館、地藏森等ノ諸山、相
連絡セリ
郡ノ南境、天船木村ヨリ、左沢ニ至テ、最上川ノ水
程、九十里、中間漁獵ノ為メニ、築ヲ架スル、其數五
十餘、其魚ハ、鮭、鱒、鮎、鯉、鰻、鯰、利ヲ得ル少カラズト
雖、通航ノ妨碍無キヲ保タズ、然ルニ大滝村ノ大
滝、築、尤沢、字ド、メキノ築等ノ如キハ、却テ船筏
ノ沿流ヲ助ク、川形該地ニ至リ、中洲有リテ、今流
ス、一路堰滝ノ設アラザレバ、兩路共ニ舟行ニ難
シトス

大船木ノ北ニ、字クヅレト曰フ所有り、百有餘年前大ニ崩ル、故ニ其名有り、近年慶應ノ度ニ、又崩レ、最上川ヲ填塞シテ、一時水路ヲ断ツニ至ル、其地朝日嶽ノ麓脉ニ連リテ、鹵磧ニ属ス、故ニ今ニ至テ、尚時々小缺落アリ

最上川ハ上流ニ至ルニ隨ヒ、水路險惡多シ、元祿中、西村某財ヲ投シテ、大ニ修繕ヲ加フ、西村氏ハ西京ノ人、曾テ上杉氏ノ用度ヲ達セシ者ナリ、伏熊村ハ、川東ニ在リ、鯉魚ヲ養成ス、輸出少カラズ、平塩村、山塩ヲ發見ス、未ダ産ヲ遂クルニ至ラズ、熊野神社有り、郷社トス

谷地ハ、往古北寒河江郷ト曰ヘリ、寒河江ノ北ニ里弱、山形ヲ距ル、四里二十町十七間ニ在リ、荒町新町、大町、松橋、前小路、上下工藤小路、北口ノ八村ヲ併セテ、谷地ト総稱シ、其繁榮寒河江ト相伯仲ス、東西十八町十六間、南北十四町十間、市坊四、戶數千二百二十五、人口六千九百九十四人、男三千三百三十六人、女三千四百五十八人、大町ニ、警察分署ヲ置ケリ、八幡社有り、郷社トス

左沢、谷地、同ク最上川ニ濱シ、漕運酒田ニ通スル

ノ利有リ、谷地殊ニ便ヲ得タリ
近村溝延ハ、最上寒河江ノ二川ニ瀕シテ、大村ナ
ル、毎戸草履表ヲ製出ス、ハ幡宮ノ郷社有リ、湯ノ
沢村ノ熊野神社モ、亦郷社トス
樽石川ハ、源ヲ樽石村ノ西山ヨリ發シ、東流シテ
最上川ニ入ル
富並村ハ、谷地ノ北三里ニ在リ、南ニ富並川有リ、
其源大畑山ノ南ヨリ出テ、東流シテ最上川ニ入
ル、三面水ヲ擁シテ、形勝ノ地ナリ、城墟有リ、鬼甲
城ノ号ハ、兩羽中ニ於テ、最古ナリト云

富並ノ北、凡一里二十町、横山村トス、最上川ニ接
シ、大石田ト水ヲ隔テ、相對ス、渡船場ナリ

最上郡

松井秀房 閱

羽前國ノ東北ニ位シ、北ハ男小子鬼、女小子鬼、杉
峠等ノ山嶺ヲ以テ、羽後國、雄勝郡ト界シ、東ハ矢
柄山、前森山、大羽山、大鎬、小鎬等ノ羣岳ヲ以テ、陸
前國、玉造、栗原ノ二郡ト界ス、東南ハ村山郡ニ隣
ル、其分界、猿羽根峠ノ、山脉尽ル處ヲ、最上川トス、
本郡ノ南部ニ入テ西流ス、川南ニ大畑山有リ、村

山郡ニ接シ、葉山ニ連リ、西高倉山ニ亘ル、板敷山ハ、最上川ノ南岸ニ聳エテ、西田川郡ヲ限ル、川北ノ西ヲ、飽海郡トス、丁嶽西北隅ニ跨リ、其山脉南ニ延キテ、國郡ノ境界ヲナシ、奥外川山西ニ峙チ、其南麓ヲ仙人沢トス、本郡ハ都テ山多シト雖、其南端ノ方面ヨリ、東西ノ二峽及ビ、最上川ノ兩岸、稍平行ノ地ヲ見ル、往時十郷ニ分テリ、南本町、北本町、舟形、古口、金山、大沢、庭月、川口、上下小國、是ナリ、本村寡ナク、支郷多ク、且原野多シ、他郡ト異ナリ、東西、凡十五里、南北、凡十一里、而シテ新莊ノ地

位ハ、郡ノ中央ニ在リ、氣候ハ、四境都テ寒威劇シ、氷針十八九度、積雪、一丈コリ、二丈ニ至ル、中央部ハ、寒二十度許、雪ハ六七尺ヨリ、一丈ニ至ル、暑ハ、大約九十四五度トス、舊反別、八千六百九拾町八反八畝拾五步零五合、草高、八万四千零五拾七石五斗壹升六合三勺壹才、耕宅地、現反別、壹万千百三拾壹町五反八畝貳拾步、地價金、貳百貳拾五万貳千六百五拾四圓六拾五錢九厘、山林原野、現反別、三千三百八拾壹町六

及五畝步貳合、地價金、六千七百七拾三圓九拾貳錢九厘

市街二、村落六十九、戶數七千零二十七戶、人口、四万六千二百七十五人、男、二万四千五百八十八人、女、二万一千八百八十七人

學區九番中學區、小學校、四十三、教員、六十人、生徒、

二千二百二十人、男、一千八百九十九人、女、三百二十一人

牛、百六十五頭、牝、六十馬、三千五百二十七頭、牝、三百二十七

舟、船、十四、小、船、六、百、十、四、車、人力車、三十、荷車、十一、

郵便局、新、庄、船、形、金山、及、位、瀨、見、向、町、塚、田、本、合、海、井、形、津、谷、京、塚、川、内、差、首、鍋、中、渡、在、

普通物産、米、大麥、小麥、粟、黍、稗、大豆、馬、齡、薯

特有物産、銅、砂、金、麻、青、芋、繭、真、綿、生、糸、新、庄、綾、織、小

國、馬、栗、根、蕨、干、蕨、蕨、粉、蕨、繩、干、狗、脊、冰、餅、鮭、鮎、木、材、

炭、薪、漆、生、蠟、陶、器、藍、葉、製、茶、猪、皮、人、參、葉、烟、州、菜、種、

荏、種、紙、草、類、蜂、蜜、水、獺、皮

猿、羽、根、峠、ノ、北、麓、ヲ、舟、形、駅、ハ、新、庄、ノ、東、南、二、里

十四町、平、二、間、ニ、在、リ、駅、北、ニ、舟、形、川、有、リ、最、上、川

ニ、入、ル、川、西、ニ、茫、漠、タル、原、野、有、リ、長、者、原、ト、曰、フ、

往、古、某、長、者、住、セ、シ、地、ト、云、フ、曰、テ、名、ク、村、落、有、リ、

長、者、原、村、ト、曰、フ、五、十、戶、ニ、過、ギ、ズ

西北ニ、丈村有リ、福壽野ト曰フ、新莊五日町村ノ
商某村山郡ノ人民ト、協同シテ墾拓セリ、万延元
年以來ノ事トス、居民十五戶

長者原、楢柏多シ、野蚕ヲ飼養スルノ適地トス、又
蕨薇多シ、土人採テ賣鬻ス、總シテ本郡ハ、薪炭木
材ニ富贍ナリ

鳥越川ハ、源ヲ木葛岳ノ南ニ發シ、鳥越村ノ北ニ
浴ト、西南ニ流レテ、最上川ニ入ル

新莊ハ、本郡中繁華ノ地ナリ、小田島町、沼田町、五
日町村、十日町村、金沢町村ヲ併セテ、新莊ト称セ

リ、東西、六町四十間、南北、三十町、山形ヲ距ル、十六
里六町、五十七間、市坊、十、戶數、千七百六十九、戶、人
口、一万余、二百零四人
男五千九百一十一人
女五千九百一十三人
小學校、二
教員、十五人、生徒、五百人
男四百十八人
女八百一十二人
警察署、今署ハ、十日町村ニ在リ、本郡ノ役所ハ、
小田島町ニ在リ、市内ニ三條ノ小川有リ、合流シ
テ、鮭川ニ會ス、七所、明神有リ、又八幡ノ郷社有リ
産業場ハ、五日町村ノ地内、常盤丁ニ在リ、元戶沢
氏ノ別莊ナリ、明治五年來、開場、男ハ傘ヲ製シ、女
ハ機杼ニ従事ス、綾織及ビ、木綿ヲ産ス

新莊城、二ノ丸ト称セシハ、沼田ノ古城趾ナリ、沼
 有ルヲ以テ名ク、最上氏ノ一族、日野將監居住セ
 リ、元和八年、戸沢政盛、常州松岡ヨリ轉封シ、其初
 真室ノ城ニ居リ、寛永二年、古城趾ニ拠リテ、建築
 シ、更ニ新莊城ト名ク、鳥居忠政、繩張リト云フ、
 尔來十世ニ傳フ、戊辰ノ役、戸沢氏大義ヲ張リ、奥
 羽同盟ヲ變渝ス、是ニ於テ合従ノ徒、急ニ新莊ヲ
 攻ム、其七月十三日、舟形川ヲ隔テ、銃戰ス、翌十
 四日、戰未ダ決セズ、賊ニ放火セラレ、城郭市街、一
 時焼亡セリ、尔後邸居ヲ造ル、今ノ新莊校是ナリ



鳥越ヨリ新莊ヲ望ム

天神社ハ、旧郭内ニ在リ、原
 戸沢氏ノ鎮守ナリ、今郷社
 トス
 越後、人涌井氏、天保年間、
 金沢町村支郷、金枝村ニト
 居シ、陶器ヲ製ス、新莊土鍋
 ノ名有リ、其火ニ耐力アル
 ヲ以テ、称セラル、近年濃州
 ノ人ヨリ、石焼ノ法ヲ傳習
 シ、頗ル進歩セリ

山形縣志是要上

五十五

月谷

泉田村上臺村ノ間、東西ニ亘リテ、原野有リ、塩野
原ト曰フ、頗ル大郊ニシテ、一望際涯ナシ
金山駅ニ、城趾有リ、三方山ヲ環ラシ、一方川ヲ帶
フ、要害ノ地ナリ、番城ニシテ、丹與總左衛門之ヲ
守レリト云、八幡ノ郷社有リ

真室城ハ、真室川ノ東、内町新町ノ邊ニ在リ、佐々
木典膳之ニ居レリ、後最上義光ニ属シ、鮭延越前
ト稱ス、此地ハ、往時鮭延ノ荘タリ、因テ氏トス
金山ヨリ、中田村ヲ經テ、及位駅トス、駅南塩根坂
有リ、險路ナリ、駅北ヲ杉峠トス、又北雄勝峠有リ、

此ヲ國界トス、新莊ヨリ九八里
及位ヨリ、杉峠ニ至ルノ路傍ニ、七色木ト曰フ有
リ、一樹ニシテ、枝葉七種ニ分ル

金山川ハ、源ヲ黒森山ニ發シ、金山ニ沿ツテ、西流
シ、真室川ニ注グ

真室川ニ源有リ、一ハ黒森山ヨリ出テ、一ハ杉峠
ヨリ發ス、及位ノ東ニシテ、二流相合シ、西ニ流レ
テ、瀑布トナリ、大滝ト曰フ、高五丈、其地ヲ大滝村
トス、釜淵村ヲ過ギ、南折シテ、金山川ヲ會シ、又大
沢川ト合シテ、鮭川ト稱シ、津谷村ノ東ニシテ、最

上川ニ入ル

大沢川ハ、丁岳ヨリ發シテ南流シ、木ノ下村ニシテ、真室川ニ合ス、曲川ハ、二源有リ、奥外川山ノ北ト東ニ發シ、曲川村ニシテ相合シ、真室川ニ注グ、泉田川ハ、源ヲ大鎬山ニ發シ、西南ニ屈曲流シ、新莊ノ北ヲ過ギ、川口村ノ北ニシテ、鮭川ニ入ル、拾子崑ト名クル山有リ、甚大ナラズ、宮窟有リ、廣數十人ヲ容ル可シ、板敷ノ處有リ、或人其板ヲ徹レテ歸リ、他日往テ之ヲ見レバ、其板皆安貼シテ、旧ノ如シ、後屢之ヲ試ム、悉ク然リト云、此山大沢

村ニ屬セリ

郡ノ内地ニ在テ、峙立スル者ハ、木葛ハ森、龜割等トリ、其山脉北ニ直リテ、窪突セリ、龜割ノ山中、源豫州ノ室分、婉ノ地ト称シテ、子枕石ノ古跡存セリ、其他鳥越ノ支郷、休場村ノ休石、轉坂等ノ如キ、皆豫州ノ經歷ニ因テ、名ヲ得タリト云フ、京塚村ニ、愛宕神社有リ、郷社トス、西部ノ國界ニ於テ、飽海郡ノ通路四線有リ、差首鍋村支郷、高坂村入三石沢ヲ經テ、飽海郡、青沢村

字木賊沢ニ出テ、北青沢ニ至テ、九五里、昔時ハ、馭
路ナリシニ、正徳年度ヨリ、廢道トナレリ、又中ノ
渡村支郷、刻沢村ヲ經テ、全郡坂本ニ至ル、九四里
餘、其他ノ路線、幽僻ナルカ故ニ、跋涉スル者少ナ
シ
小國館ハ、小國日向守勝頼居住ス、最上氏ニ属セ
リ、本城村ニ在リ、向町村ニ熊野神社有リ、郷社タ
リ
此地新莊ノ東、九八里半ニ在リ、山中ノ郷村ニシ
テ、古昔ヨリ聚シテ、小國郷ト總稱ス、馬ヲ産ス、或

ハ野飼ノ者アリ、形状短小ニシテ、氣勢頗ル悍ナ
リ、之ヲ小國駒ト稱シテ、輸出最多シ、又居民工業
ヲ、職トスル者多ク、之ヲ小國大工ト稱ス、猶昔時
匠工ノ、飛彈ヲ稱セル如シ
新莊ヨリ、船形、長沢、鶉杉、向町、笹森、塚田ヲ經テ、大
羽山ヲ越エ、陸前、玉造郡、中山駅ニ至ルハ、一ノ街
道ニシテ、之ヲ小國越、又尿前越ト名ク、新莊ヨリ
九十三里、又向町ノ東、黒沢ヨリ、大鍋ノ南ヲ經テ、
全栗原郡、鬼首ニ至ル支道アリ、向町ヨリ四里十
八町、又赤倉ノ南、菅ノ平ヨリ、前森山ノ南ヲ回リ

テ、全加美郡切籠ニ至ル、亦支道ナリ、菅ノ平ヨリ
四里二十四町、大鍋ハ、險ニシテ、馬足通ゼズ、輕装
ナラザレバ、越ルヲ得ズ

大鍋山ハ、陸前ニテ、之ヲ禿嶽ト号シ、小鍋ヲ、外禿
ト曰フ、其山脉羽後ニモ亘レリ、山頂峯宮ニシテ
不毛ナリ、故ニ名ク

大堀村ノ支郷、瀬見ノ地ニ、温泉有リ、瀬見湯ト名
ク、泉質、硫氣、疝氣、疥癬等ニ宜シ、居民三十二戸、旅
店ハ、七八戸トス、瀬名坂、猿羽根ノ山麓ニ属シテ、
瀬見川ノ兩岸ニ臨ム、秋日ハ浴客多シ

瀬見ノ東、九五里、赤倉ノ温泉有リ、其質、瀬見ニ全
シ、居民二十戸餘、山間ニ又温泉有リ、日山ノ湯ト
名ク、眼病ニ功有リ

瀬見川ハ、舟形川ノ上流ナリ、又其上ヲ小國川ト
曰フ、二源有リ、一ハ前森山ノ西ヨリ出テ、一ハ大
羽山ノ北ヨリ發ス、二流赤倉ノ西ニシテ合シ、向
町ノ南ニシテ、大鍋ヨリ源スル、縮出川ヲ會シ、月
楯ノ南ニシテ、矢柄山ヨリ發スル、満沢川ヲ會シ、
大堀ノ南ニシテ、白川ヲ會ス、白川ハ小鍋ノ南澗
ヨリ出ヅ、又鶉杉ノ西ニシテ、横川ヲ會ス、横川モ

亦小鎬ヨリ出ヅ、而シテ瀨見ヲ貫流シ、瀨見川ト
稱ス

清水城趾ハ、最上川ノ南岸ニ在リ、最上義光ノ三
男、清水大藏大輔城主タリ、往古ノ經始詳ナラズ、
今僅カニ郭壁整隍ノ遺趾ヲ存ス、寛永年間、居民
北岸ニ移轉ス、今ノ清水村是ナリ、而シテ今尚南
岸ニ住スル者有リ、向清水ト曰フ、十戸ニ過キバ
清水村、従前ハ繁華ノ地ナリ、凡最上川ヲ沿派ス
ル者、行客運輸、皆此地ニ由ル、然ルニ水路次第
ニ開ケ、通航上流ヨリスルハ、便有リ、加之、近年水

勢ノ變換ニ因リ、清水河岸ハ、船ノ泊所ニ遠カリ
テ、揚荷ノ運搬ニ勞セリ、清水ヨリ下流凡三十町、
本合海ノ河岸ハ、其宜ニ適セリ、且本合海ヨリ、新
莊、舟形、古口等ニ通スルノ、道路新ニ開ケ、人氏ノ
來往モ亦便ナリ、故ニ本合海ハ、欣榮ノ色有リテ、
清水ハ之ニ反セリ

本合海ノ西ニ、小巖有リ、水涯ニ屹立ス、半腹ニ、矢
向明神ノ祠有リ、古社ナリ、松樹蒼鬱、間紅葉多シ、
舟中ヨリ望メバ、景色絶佳、實ニ一幅ノ活画本ト
謂フ可シ

清水河岸ノ下流字地藏マ
キ有リ、往時地藏ノ石體出
現セリ、其側ニ花マキ石有
リ、水底常ニ金色ヲ光テ發
ス、物有ル如シ、百方之ヲ探
搜スレモ、得ル能ハズ、没シ
テ其所ニ至レバ、一物ヲ見
ズ
マキトハ魚ヲ漁スル所ヲ
曰ノ、此土ノ方言ナリ、其狀

本合海圖



水涯ヨリ水中ニ向テ、豎ニ杭ヲ並植シ、四ッ手網ヲ
投シテ漁ス、其設ケ有ル所ノ名ナリ
此邊曾テ野火ヲ失シ、其火タマ、石炭脈ニ入
ル、凡七年間、炭烟ヲ見ルト云、総テ最上川ノ兩岸、
石炭多シ、而シテ赤ダ採出ノ法ヲ得ズ
堀ノ内村ノ西、松橋川有リ、大畑山ヨリ發源シテ、
最上川ニ入ル
赤松村、南山村ノ間、烏川北流ス、其源月山ノ牛カ首
ヨリ出テ、清水ノ支郷通村ニシテ、葉山ノ谿間ニ
源スル、赤松川ト合シテ、最上川ニ入ル、此川砂金

ヲ産ス

南山村ハ、葉山ノ北麓ニ方レリ、礦山有リ、宇永松ノ銅礦ハ、延宝七年發見、天和年間、殊ニ盛ナリ、一周年採出一万餘個ニ及テ、寛延ヨリ明治ニ至テ、凡百廿年間、其業微々タリ、明治十年、三月以來、下總ノ人、信太氏、借區營業セリ

宇立石ノ銅鑛ハ、明治七年發見、全八年、五月ヨリ、村山郡ノ人、古沢氏營業ス、亦借區タリ、此他鉛鑛有リ

鳥川ヲ左右シテ登ル、凡三里、肘折村トス、南山支

郷ナリ、温泉ヲ肘折湯ト曰フ、泉質、硫黄、打撲ニ宜シ、此地高倉大畑ノ山脉ニ介ス、新莊ヨリ七里、肘折ヨリ西北一里、今熊ノ温泉有リ、泉質ハ、硫黄ニ金ヲ混ス、又塩氣有リ、疥癬ニ宜シ、蛇蝎多シ、此地角川村支村、有川ニ属シテ、高倉山ノ奥三里ニ在リ、雪深クシテ、常住スルヲ得ス、夏秋ノ際、更ニ艸廬ヲ結ヒ、浴客ヲ待ス、其設ケ極メテ粗鄙ナリ、然ルニ名湯ノ稱有ルヲ以テ、來リ浴スル者、毎歳万人ニ下ラズ

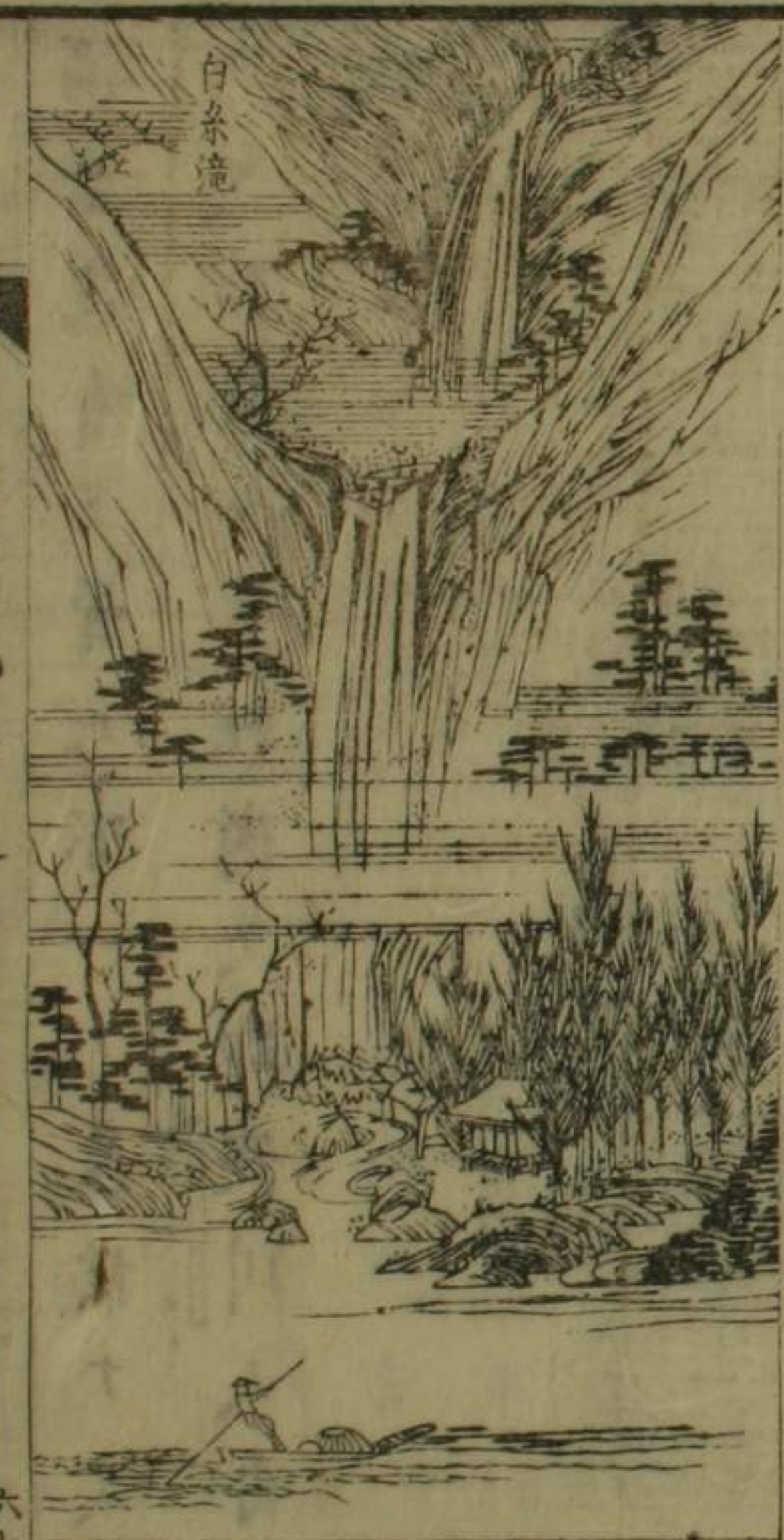
今熊ヨリ北三里、古口駅トス、最上川ノ南岸ニ濱

セリ、西三里餘郡界トス、新莊ヨリ七里餘
古口ノ地内、字砂沢ニ、貝石ヲ出ス、其形正指異同
アリ、之ヲ碎ケバ、石中ニ貝形ノ小石、數種有リ
古口ヨリ、板敷越ヲ經テ、田川郡陣嶺ノ半腹ヲ北
ニ回リ、清川ニ出ルノ、一路線有リ、而シテ路形ヲ
為スニ至ラズ、藥罐轉大徳寺泣等ノ嶮アリテ、僅
カニ一身ヲ通スルノミ、從來本郡ヨリ田川飽海
ノ地方ニ到ルハ、最上川ノ船路ノミ、物品ノ運輸
ニ便ス、然レモ隆冬ノ際、河水凝結シテ、舟楫其便
ヲ失フ、現今開明ニ際シ、豈之ヲ黙止ニ付ス可シ

ヤ、是ヲ以テ、古口新道開鑿ノ議起ル、費額ヲ管下
ニ賦課シ、官之ヲ經營ス、成功近キニ在リ
古口ノ西、角川有リ、高倉山ニ源シ、角川村ニ沿フ
テ北流シ、最上川ニ入ル
古口ヨリ下流、柏沢村ニ至ル、九四里餘、川幅約十
町ニ過グ、是ヲ山ノ内ト総稱ス、兩岸名所多シ、稍
下ル三十町、北岸水ニ接シテ、巨石三有リ、各周圍
數十間、相擁抱スル者ノ如シ、之ヲ抱石ト名ク、南
岸ニカッパ淵ト曰フ有リ、俎岩ハ、盤ノ如ク、仙人瀨
ハ水淀ミテ、流レザルニ似タリ、北岸仙人沢ニ、仙

人堂有り、常陸坊海存ノ、遺跡ト傳フ、堂ノ後山、樹
 木森々トシテ、殊ニ幽邃ナリ、古來不伐ト称ス、此
 一山、禽鳥到ラズ、昆虫生ゼズ、奇ト云フ可シ、岸ヲ
 距ル七八尺、二石有り、水面ニ突出ス、基礎ノ状ヲ
 ナス、之ヲ華表石ト名ク、此邊ノ南岸、懸崖絶壁、高
 數百尺、長數千丈、船ヲ挽クベキノ路ナシ、加之水
 深クシテ、藍色一碧、其底知ル可カラス、掉ヲ崖壁
 ニ拄撐シテ、漸々泝上ス、座頭撫ノ、称呼有り、土湯
 村ノ此岸、不動尊ヲ安置ス、瀑布有り、白糸滝ト名
 ク、巒上ヨリ直下シ、長短二層ヲナス、丈長クシテ

織ニ、景状真ニ奇ク、其他山内ノ兩岸、大小併セ
 テ、四十八瀑有り、而シテ、白糸、大滝、界ノ滝、等、殊ニ
 著名トス、又杉ノ古木多シ、其紋理、楓ニ似テ、如輪
 ヲナシ、或ハ黒枿ノ如ク、鶉斑有り、他ニ其類希ナ
 リトス、不動堂ヨリ、凡一里、柏沢村トス、此ヲ國界



ト為ス、凡山ノ
 内、五六ノ小部
 落、皆古口ノ支
 村ニ係ル、此村
 落、小舟ヲ以テ

白糸滝

山形縣志是要上

肆 書 捌 賣

余田一 白川 日郎丁	同 七十 丁	同 船場 町	同 傳馬 町	同	濱酒 町	同 上有 町	同 一日 市町	同 寶町	同	同	同 山形 縣 鶴岡 五日 町	同 三丁 目	同 三 嶋丁	東 京 芝
佐藤善治	五十嵐仁右門	加納治兵衛	須田傳治郎	岩谷八郎兵衛	白崎吉兵衛	白崎善助	小池忠藏	熊本屋助五郎	加賀屋五右門	地主文藏	小池藤治郎	山城屋平吉	山中市兵衛	
同 掘岡	同	同 大石 郡	同 門東 町	同 立町	同 桐米 町	同 高島	同	同 宮内	同 小松	同 小出	同 官	同 石那 郡	同 新上 郡	
村川兵吉	設樂太右門	高米甚右門	鳥羽虎吉	素月晨平	中村清兵衛	新野惣左門	伊藤長太郎	角屋卯左門	伏見屋嘉吉	巴屋平五郎	長沼惣右門	大和屋兵五門	佐藤傳四郎	
同 日町	同 六日 町	同	同 七日 町	同	同	同	同 十日 町	同 八日 町	同	同 上 山	同 天童	同 寒河 江	同 谷地	村山 郡
荒井太四郎	市村五郎兵衛	北國屋弥平治	五十嵐太右門	中川久助	高田為治郎	山口惣右門	北條忠兵衛	松坂屋傳左門	淺野利七	相沢兵助	芳村惣治	田宮五郎		

山形縣地誌提要上終

酒茶菓有ヲ賣ル亦一ノ産業ナリ船舶ノ上下ス
ルヤ、四集ニテ相街ノ即波川ノ舟幽靈ナル者ニ
類セリ

